事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0195
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤橋　靖弘
所属　2455　教育委員会教職員室　記入者　藤橋　靖弘
事務事業番号　01435　教職員健康診断事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	001　教職員健康診断事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学保安法第１５条施行規則第１３条，第１４条，労安衛法第６６条の１０				
事業概要	（事業概要） 学校保健安全法第１５条に基づき、教職員の健康診断を、労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施することにより、教職員の健康管理、保持増進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 脳・血管・心臓疾患につながる内臓脂肪症候群等の所見を有する労働者が増加している。また、精神疾患による私傷病休暇取得者や病気休職者も一定数ある。 （見直しや改善等の経過） 平成２１年度から夏季休業中の健診時期を変更、胃検診を同時受診とした。平成２６年の労働安全衛生法一部改正に伴い、平成２７年にストレスチェックが義務化、平成２８年度からストレスチェックを実施している。 令和７年度からストレスチェック結果を踏まえた職場環境改善支援研修を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	県費教職員、市費教職員（胃部検診のみ）を対象
目的(何のために)	教職員の健康状況やストレス状況を把握し、自己管理および適切な治療等に役立て、教職員の健康管理に努めるため。
手段(どのようなやり方で)	教職員健康診断（全員対象）と胃検診（４０歳以上の教職員）及びストレスチェックの実施と検診結果の把握を行う。
成果(どのような状態にするのか)	教職員の健康の保持・増進を図るとともに、子どもたちに接することに適した健康状態を保つ。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	12,044	12,705	14,936	22,172	22,172	22,172	22,172
事業費	10,172	10,785	13,016	20,252	20,252	20,252	20,252
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,172	10,785	13,016	20,252	20,252	20,252	20,252
人件費計	1,872	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920
事務・技術（人）	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0195
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2455　教育委員会教職員室
事務事業番号　01435　教職員健康診断事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-16-00-22-00	教職員健康診断事業費	教育委員会教職員室

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)健康診断受診者（県費教職員）	人	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00
		1,466.00	1,428.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ストレスチェックの受検率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.60	98.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康診断受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.30	96.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高ストレス者の面談率	%	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50
		1.49	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校保健安全法や労働安全衛生法に基づき実施の必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	実施期間に夏季休業期間を含め、受診率の向上を図っている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	健康診断と胃部検診を同時に行い、効率的に実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	疾病の早期発見や治療を含め、職員の健康管理につながっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	健康診断事業については、各職員の健診受検に向けて効率的に進めることができた。法定の健康診断の項目外ではあるが、がん検診の受検について更に啓発勧奨を進め、早期発見・早期治療に繋げていくことが必要である。また、ストレスチェック事業については、学期末の繁忙期に合わせて実施することができ、受検率も９８．２％と高い受験率であった。また、令和７年度からは、ストレスチェックの結果を踏まえ、職場環境改善支援研修を６校で実施し、改善に向けた取組を実施することができた。今後更に、高ストレス者への医師面接への接続について検討・改善を図っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市立小中学校教職員の健康管理を推進し、教職員一人ひとりの健康増進を図ることで、教職員が生き生きと職務に取り組み、第４期教育振興基本計画の実現に向けた教育活動の充実が図れるよう、事業の継続と受診率の向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2455　教育委員会教職員室
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01435　教職員健康診断事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)健康診断受診者（県費教職員）	人	1,570.00 1,466.00	1,570.00 1,428.00	1,570.00 0.00	1,570.00 0.00	1,570.00 0.00	1,570.00 0.00	1,570.00 0.00
	指標説明	目標値：県費教職員数より人間ドック受診見込み人数を除いた数						
(活動)ストレスチェックの受検率	%	100.00 96.60	100.00 98.20	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	目標値：産育休中の職員を含まない数値を指標とする。						
(成果)健康診断受診率	%	100.00 97.30	100.00 96.50	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	受診者÷対象者						
(成果)高ストレス者の面談率	%	12.50 1.49	12.50 2.75	12.50 0.00	12.50 0.00	12.50 0.00	12.50 0.00	12.50 0.00
	指標説明	面談受診者数÷高ストレス者数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0196
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤橋　靖弘
所属　2455　教育委員会教職員室　記入者　藤橋　靖弘
事務事業番号　02671　教職員人事管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	008　教職員人事管理事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立小中学校教員不祥事防止対策検討委員会答申				
事業概要	（事業概要） 大津市立小中学校教職員による不祥事の防止に向け、外部専門家による大津市立小中学校教員不祥事防止対策検討委員会を設置し、具体的な対策について検討を行った。その答申を受け、市立小中学校教職員による不祥事を未然に防ぐために、弁護士や臨床心理士、精神科医等の専門家による研修を各校で実施し、教職員の規範意識や倫理観の向上、ストレスマネジメントや同僚性の醸成を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 小中学校教職員に求められる規範意識や倫理観はきわめて高く、公私を問わず教職員の言動について児童生徒への影響は非常に大きい状況であることから、教職員の不祥事防止に関する取組は重要である。 （見直しや改善等の経過） 平成２８年度から実施の事業であるが、平成３０年度には不祥事が複数発生したことから、教職員一人ひとりが自分事として捉えられる研修内容への変更と職階別、経験年数別の研修を取り入れ、実施。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市立小中学校教職員を対象
目的(何のために)	大津市立小中学校教職員による不祥事を防止するため。
手段(どのようなやり方で)	弁護士や臨床心理士等の専門家を招聘した、不祥事撲滅研修を市立小中学校全校で実施する。
成果(どのような状態にするのか)	市立小中学校教職員が教育公務員としての崇高な使命と誇りを自覚し、規範意識や倫理観を向上するとともに、職場の同僚性を醸成する中で職員間の自浄機能を向上させ、教職員による不祥事を防止する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	8,937	9,191	9,560	13,854	13,854	13,854	13,854
事業費	6,987	7,191	7,560	11,854	11,854	11,854	11,854
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,987	7,191	7,560	11,854	11,854	11,854	11,854
人件費計	1,950	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事務・技術（人）	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0196
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2455　教育委員会教職員室
事務事業番号　02671　教職員人事管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-36-00-05-00	教職員人事管理事業費	教育委員会教職員室

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市立小中学校での研修実施校数	校	54.00 54.00	54.00 54.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00
(活動)職階別、年齢別等の研修の実施回数	回	11.00 11.00	11.00 11.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
(成果)不祥事発生数	件数	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	服務監督者として教職員の不祥事防止に関する取組は不可欠である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	研修形態を工夫して実施することで未然防止につながっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	外部講師の選定や日程調整について更に効率化を図る必要がある。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	教職員の服務規律への意識や資質向上につながっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	年度当初における新転任者研修や不祥事防止研修、各職階や経験年数に応じた研修、夏季休業中の不祥事撲滅研修等、様々な研修を実施した。また、研修受講者による所属校でのフィードバック研修も実施している。また、子ども性暴力防止法に基づいた啓発・注意喚起も機を捉えて実施した。今後更に、実情に応じたタイムリーな研修を実施していくことにより、不祥事防止に向けた教職員の意識向上を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	保護者や地域との信頼関係を基盤とした市立小中学校の安定と充実を図るためには、教職員一人ひとりがその使命を自覚し、高い人権意識と規範意識を持って業務に取り組むことが不可欠である。そのためにも、今後も研修の充実を図り、不祥事の未然防止はもちろん、子どもたち一人ひとりが輝く教育の充実に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2455　教育委員会教職員室
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02671　教職員人事管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市立小中学校での研修実施校数	校	54.00 54.00	54.00 54.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00	54.00 0.00
	指標説明	葛川小・中学校は１校とカウントし、市立小中学校５４校での実施を目標値とする						
(活動)職階別、年齢別等の研修の実施回数	回	11.00 11.00	11.00 11.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
	指標説明	教職員経験年数に応じた研修会の実施回数を目標値とする						
(成果)不祥事発生数	件数	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	県教委が市町を公表している懲戒処分のうち大津市立学校に該当する件数を指標とする						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0197
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　菅沼　智也
事務事業番号　00072　学校支援総合推進事業〔小・中学校〕

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	004　学校支援総合推進事業〔小・中学校〕				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	市実施要項				
事業概要	（事業概要） 地域・家庭・学校が目標を共有し、地域ぐるみで子どもの成長を支えるコミュニティ・スクールの実施・運営を推進するとともに、中学校区を単位とした校種を超えた連携を進め、子どもの育ちや学びの連続性を一層重視した一貫的な教育を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもたちの健全な育成、安心・安全な学校づくりのために、地域ぐるみで子どもを育てる体制や就学前から中学校卒業までを見通した一貫した教育課程の充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） コミュニティ・スクール事業、保幼小中連携推進事業を学校支援総合推進事業に統合し、地域、家庭、学校の連携・協働を推進している。学校運営協議会の全校設置を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立５５校を対象に
目的(何のために)	地域の学校園が連携し、家庭や地域社会との結びつきを深め、地域ぐるみで子どもの成長を支える体制をつくるため
手段(どのようなやり方で)	校種を超えた学校間での研修等の交流や地域ぐるみで子どもを育てる体制に対する支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域・家庭・学校が連携・協働して教育活動の質を高める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	16,756	17,079	18,213	18,344	18,344	18,344	18,344
事業費	9,316	9,575	10,493	10,624	10,624	10,624	10,624
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,316	9,575	10,493	10,624	10,624	10,624	10,624
人件費計	7,440	7,504	7,720	7,720	7,720	7,720	7,720
事務・技術（人）	0.80	0.74	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.36	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0197
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00072　学校支援総合推進事業〔小・中学校〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-01-00	学校支援総合推進事業費〔小・中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校支援総合推進事業活動状況	回	1,100.00 1,943.00	1,750.00 1,729.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00
(成果)家庭・地域との連携に関する学校評価	点	2.80 2.91	2.80 2.87	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域ぐるみで子どもを育てる体制は必要である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	学校評価における各校の関係者評価結果が目標値を上回っている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校・地域の状況に合わせて支援することは効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりができる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	家庭・地域との連携に関する学校評価が昨年度同様目標値を大きく上回っており、各校が家庭や地域社会と結びついた教育活動を展開していることが伺える。また、令和７年度は５５校すべての市立小中学校で学校運営協議会を設置し、目指す子ども像の実現に向け、地域・家庭・学校が連携・協働した活動を行っている。今後は各事業の質的な向上を図り、地域とともに子どもを支えていく体制を強化していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校支援総合推進事業における学校評価について目標値を上回っており、地域の状況に応じた教育活動が実施できている。また、全ての学校において学校運営協議会を設置し、地域・家庭・学校が協働する体制づくりが進んでいる。今後は各事業の質的な向上を図り、地域とともに子どもを支えていく体制を強化していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00072　学校支援総合推進事業〔小・中学校〕

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校支援総合推進事業活動状況	回	1,100.00 1,943.00	1,750.00 1,729.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00	1,836.00 0.00
	指標説明	小・中５５校における学校支援総合推進事業に関する活動回数 目標：過去２年間の実績の平均　実績：各校からの報告書のとりまとめ						
(成果)家庭・地域との連携に関する学校評価	点	2.80 2.91	2.80 2.87	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00
	指標説明	学校評価における各校の関係者評価結果の平均点。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0198
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　川原　綾子
事務事業番号　00089　う歯歯周疾患等予防事業

【基本情報】

総合計画	04 大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003 子どもの教育の充実				
取組の方向性	001 次代を生きる力の育成				
事務事業	014 う歯歯周疾患等予防事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学校保健安全法第１４条				
事業概要	（事業概要） 児童生徒が、歯や口の健康上の問題を自分で考え、生涯を通じて健康な生活の基礎を培うため、「口腔疾患指導対策事業、歯科保健指導事業、歯と口の健康週間事業」を実施する。また、令和４年度からフッ化物洗口モデル事業を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 歯科の健康の重要性から「滋賀県歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例」が制定された。児童生徒のう歯疾患率に個人差が見られ、適切な歯磨き等の生活習慣づくりが必要である。 （見直しや改善等の経過） 口腔疾患指導対策事業・歯科保健指導事業については、児童のワークシートや事後措置用の動画等を作成し、歯科医師・歯科衛生士による指導を実施している。令和４年度より、新規にフッ化物洗口モデル事業を実施・検証している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童生徒を対象に
目的(何のために)	生涯を通じて歯科衛生に関心を持ち、健康な生活を送るための基礎を培うため
手段(どのようなやり方で)	歯科保健指導事業などのう歯歯周疾患等予防を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	児童生徒の歯科衛生の意識を高め、う歯・歯周疾患率を低下につなげる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	5,066	5,300	7,325	7,723	7,723	7,723	7,723
事業費	4,130	4,340	6,365	6,763	6,763	6,763	6,763
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,130	4,340	6,365	6,763	6,763	6,763	6,763
人件費計	936	960	960	960	960	960	960
事務・技術（人）	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0198
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00089　う歯歯周疾患等予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-16-00-28-00	う歯歯周疾患等予防事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)口腔疾患指導対策事業実施校数	校	21.00 11.00	21.00 14.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00
(成果)口腔疾患指導対策事業実施率	%	100.00 52.30	100.00 66.60	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(活動)歯科保健指導事業実施校数	校	37.00 37.00	37.00 37.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	保健指導の一環として子どもの心身の健康保持につながり妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業が再開し、年々実施校が増えてきている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	歯科医師等、専門家に依頼することで学習が充実している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	歯科口腔衛生の意識が高まり望ましい生活習慣づくりに貢献してい			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	令和５年度より口腔疾患指導対策事業を再開し、実施校数が徐々に増加してきている。歯科保健指導事業は、全小学校で実施し、専門家による歯科保健指導やブラッシング指導の充実が図れている。また、本市の歯科保健施策の一環として、令和７年度も引き続き、フッ化物洗口事業をモデル校において実施した。今後も歯科医師会等との連携を図りながら、児童生徒の歯と口の健康づくりに努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	今後も歯科医師会等と緊密な連携を図りながら、各事業の円滑な実施に努め、児童生徒が自らの歯や口腔の健康を考え、望ましい生活習慣を身に付けられるように支援する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00089　う歯歯周疾患等予防事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)口腔疾患指導対策事業実施校数	校	21.00 11.00	21.00 14.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00
	指標説明	市内の小中学校で事業を実施した校数						
(成果)口腔疾患指導対策事業実施率	%	100.00 52.30	100.00 66.60	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	実施校数÷対象校数×１００						
(活動)歯科保健指導事業実施校数	校	37.00 37.00	37.00 37.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00
	指標説明	市内の小学校で事業を実施した校数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0199
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中出　裕己
事務事業番号　00120　国際理解推進充実事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	002　国際理解推進充実事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学習指導要領　市要項				
事業概要	（事業概要） 質の高い英語教育を実施するため、ＡＬＴを配置する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 学習指導要領では、外国語によるコミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力の育成が重視されている。 グローバル化の進展に伴い、実践的な英語使用機会の充実が求められており、ＡＬＴの配置は児童生徒の多様な価値観理解や主体的な学びの促進に資する重要な環境整備となっている。 （見直しや改善等の経過） ＡＬＴの活用状況に応じて学校間の配置を見直し、最適な配置に努めることにより、授業におけるＡＬＴの活用率は年々増加し、質の高い英語教育が行われている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市立中学校生徒並びに市立小学校児童を対象として
目的（何のために）	英語活用能力及びコミュニケーション力を向上し社会のグローバル化に対応できる人材を育成するため
手段（どのようなやり方で）	外国語指導助手を配置し複数の指導者で授業や支援を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	児童生徒の英語、国際理解、多文化理解に対する関心・意欲とコミュニケーション力の向上を図れるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	149,794	158,197	161,702	162,854	162,854	162,854	162,854
事業費	146,206	154,517	158,022	159,174	159,174	159,174	159,174
国庫支出金	0	896	996	1,376	1,376	1,376	1,376
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	146,206	153,621	157,026	157,798	157,798	157,798	157,798
人件費計	3,588	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680
事務・技術（人）	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0199
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00120　国際理解推進充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-27-00-01-00	国際理解推進充実事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)外国語指導助手配置人数（IB）	人	32.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		32.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)外国語指導助手活用割合（新）	%	0.00	0.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ＡＬＴに関するアンケート調査での肯定的回答の割合	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		98.00	97.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	ALT配置は、質の高い英語教育を実施するため、妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもの実践的コミュニケーション能力が向上している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校規模や活用状況、勤務実績に応じて効率的に配置している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	ALTを効果的に活用し、質の高い英語教育を実施している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	学校規模や活用状況などに応じて、ＡＬＴの効果的な配置を計画することで、英語による児童生徒のコミュニケーション力の向上につながった。今後、さらに派遣事業者と連携し、ＡＬＴの勤務実績や学校の状況に応じた効果的な配置と外国語の授業における言語活動の充実による児童生徒のコミュニケーション力の向上に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	社会のグローバル化に対応できる人材の育成のため、外国語教育の充実が図られている。引き続き、ＡＬＴを果的に配置するなど、国際理解、多文化理解が進むよう支援する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00120　国際理解推進充実事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)外国語指導助手配置人数（旧）	人	32.00 32.00	32.00 32.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	民間の外国語指導助手の配置実人数 ※実際の活用率を測る指標に変更した。						
(活動)外国語指導助手活用割合（新）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	民間の外国語指導助手の各学校総授業数に対する授業での活用割合 ※実際の活用率を測る指標に変更した。						
(成果)ＡＬＴに関するアンケート調査での肯定的回答の割合	%	95.00 98.00	95.00 97.50	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	教員を対象としたアンケート調査での肯定的回答の割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0200
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　小鴨　一磨
事務事業番号　00126　体験的学習推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	035　体験的学習推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	市実施要項　県自治振興交付金交付規則・実施要綱				
事業概要	（事業概要） 【体験的学習推進事業】子ども一人ひとりに豊かな感性と自律心、社会規範と道徳観、人間関係づくり、社会貢献など、人間としてのあり方や生き方を深く考えさせ、学校で取り組む体験的学習の充実を図ることにより、集団生活や社会生活をおくる上での人間として必要な資質・能力や態度を育成する。 【中学生チャレンジウィーク事業】中学生が働く大人の生きざまに触れ、自分の生き方を考える機会とし、進路選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てるとともに、地域と連携を深め、地域で子どもを育てる機運を高める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 自然や地域社会と深く関わる機会が減少し、人間関係をうまく構築出来ない子どもの増加等が社会的に問題になっている。 （見直しや改善等の経過） 体験的学習推進事業では学校や地域の実態に応じて工夫を凝らした取組が実施されている。中学生の職場体験学習は市内全ての中学校で事業所に出向いての職場体験学習が行われた。また事前学習として、キャリア教育を推進するための職業講話等の取り組みが行われた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市立小学校及び中学校の児童・生徒を対象に
目的（何のために）	豊かな人間性と心を育むため
手段（どのようなやり方で）	各学校の教育課程に基づいて体験的な学習を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	集団生活や社会生活を送る上で必要な資質や能力、態度を育成する。また、自分の生き方を考え、自ら進路選択できる力や将来社会人として自立できる力を育成する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	7,393	7,339	13,274	13,088	13,088	13,088	13,088
事業費	4,663	4,539	9,594	9,408	9,408	9,408	9,408
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,927	1,915	2,640	2,610	2,610	2,610	2,610
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,736	2,624	6,954	6,798	6,798	6,798	6,798
人件費計	2,730	2,800	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680
事務・技術（人）	0.35	0.35	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0200
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00126　体験的学習推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-05-00	体験的学習推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)全５５校における体験的学習実施数	個	110.00 94.00	110.00 93.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
(成果)職場体験アンケート（生徒向け）	%	90.00 90.80	90.00 93.50	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	職場体験学習が全ての中学校で実施できた			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	命の尊さや働くことの意義等を体験的に学ぶ機会となっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各学校で予算を執行することで事務手続きの効率が上がった			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	より系統的なキャリア教育を実施していく必要がある			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	学校や地域の実態に応じて工夫を凝らした体験的学習の取組が実施されている。中学生の職場体験学習は市内全ての中学校で事業所に出向いての職場体験学習が行われた。事業所での体験学習が生徒自身の新たな可能性を発見する機会となっており、規範意識や社会性等の向上にもつながっている。今後は職場体験学習を含めたより系統的なキャリア教育となるよう、事前・事後の学習を充実させていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	命の尊さや職業選択を含めた自分らしい生き方など、栽培活動や職場体験活動、校外学習等を通じて体験的に学び、考える機会となっている。豊かな人間性の育成のため、さらに教育課程全体を通じて系統的なものになるよう取組を推進していく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00126　体験的学習推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)全５５校における体験的学習実施数	個	110.00 94.00	110.00 93.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
	指標説明	教育課程にもとづく活動事業の数						
(成果)職場体験アンケート（生徒向け）	%	90.00 90.80	90.00 93.50	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	職場体験で自分のよさや適性などを発見したり確認したりできた。あてはまる・ほぼあてはまるの率						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0201
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　藤田　千明
事務事業番号　00128　部活動（文化部）等振興対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	013　部活動（文化部）等振興対策事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	市要項				
事業概要	（事業概要） 小中学校における文化的活動（部活動等）を支援するために、特に器材等の経費が高額となる吹奏楽部等に対し、楽器の新規購入や修繕を行うとともに、関西大会以上の大会出場にかかる経費に対し、その一部を補助することにより、活動の活性化及び支援を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 各校では、吹奏楽部が校外にも活動や発表の場を拡げており、音楽を通じて地域交流の役割も担っている。 （見直しや改善等の経過） 平成３０年度に、大会出場に係る経費の補助を増額して保護者の負担減を図った。 楽器の購入・修理については、小中学校の希望調査を基に、計画的に進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校及び中学校の文化部の活動を対象として
目的(何のために)	児童・生徒の文化的活動への興味関心を高め、その活動の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	小中学校からの希望調査をもとに、楽器の購入・修理対象校を決定する。また、関西大会以上のコンクールの出場費用について、その一部を補助金として交付することで
成果(どのような 状態にするのか)	児童・生徒の音楽及び部活動に対する意欲関心の向上を図り、文化的活動の一層の活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	5,710	5,649	6,250	6,800	6,800	6,800	6,800
事業費	5,310	5,209	5,450	6,000	6,000	6,000	6,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,100	1,925	3,000	0	0	0	0
一般財源	2,210	3,284	2,450	6,000	6,000	6,000	6,000
人件費計	400	440	800	800	800	800	800
事務・技術（人）	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0201
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00128　部活動（文化部）等振興対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-15-00	部活動（文化部）等振興対策事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)楽器購入・修理対象校数	校	40.00 30.00	40.00 32.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
(成果)関西大会以上のコンクール出場校数	校	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	補助を行うことで、文化的活動の関心を高めているため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	保護者の経済的負担軽減及び活動への参加促進が必要であるため。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各学校の購入・修理の実態を的確に捉えているため。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	音楽活動等への関心・意欲の向上を効果的に実現しているため。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	各小学校の楽器修理希望、各中学校の楽器修理・購入希望の実態を捉えた上で、計画的に整備を行っている。各小・中学校共に活動に必要な環境の維持充実を図り、支援に努める。令和７年度は、関西大会以上のコンクール出場校数が０校であったことについて、１校は出場を予定していたが、当日積雪に伴う交通遮断により出場が叶わなかったものであり、有効性は評価できる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	児童生徒の音楽に対する意欲関心の向上を図り、文化的活動を活性化するため、引き続き、各校の活動支援や音楽環境の維持充実を計画的に進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00128　部活動（文化部）等振興対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)楽器購入・修理対象校数	校	40.00 30.00	40.00 32.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	楽器購入・修理対象校数						
(成果)関西大会以上のコンクール出場校数	校	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	関西吹奏楽コンクール、全国小学校管楽器合奏フェスティバル等の出場校数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0202
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　山口　拓哉
事務事業番号　00136　中学校体育指導推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	003　中学校体育指導推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学校教育法施行規則第７８条の２				
事業概要	（事業概要） 本市中学生の体育活動・運動部活動の充実、活性化さらには強化練習会の補助、部活動指導員の活用事業、近畿・全国大会参加への旅費補助を行う。さらに、中学校部活動の地域展開について推進していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 運動部活動は、自主性・協調性・責任感等を育成するとともに体力の向上や仲間との触れ合いの場として重要な役割を持つが、少子化が進む中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなってきており、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関しての改革を行い、持続可能な活動環境の整備が求められている。 （見直しや改善等の経過） 部活動指導員の配置基準を見直し、広く人材を求めるようにし、年次的に増員している。 部活動地域展開の推進にむけ、大津市中学校部活動地域展開検討懇話会を設置し、検討を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市立中学校、大津市中学校体育連盟を対象に
目的(何のために)	中学校教育活動における運動部活動の指導により、中学生の体力向上、社会性の育成、生涯スポーツの基礎づくりを行うため
手段(どのようなやり方で)	運動部活動備品・消耗品の整備、部活動指導員活用、中学校体育連盟への負担金及び補助金（運動部の各種大会開催運営、競技力向上事業、近畿・全国大会派遣費補助）を交付し
成果(どのような状態にするのか)	中学校における体育活動の推進を図るため、運動部活動を充実させ、体力の向上につなげていく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,901	17,272	19,805	7,132	7,132	7,132	7,132
事業費	11,781	13,512	16,045	3,372	3,372	3,372	3,372
国庫支出金	0	0	0	1,153	1,153	1,153	1,153
県支出金	453	973	2,436	1,061	1,061	1,061	1,061
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	644	1,000	0	0	0	0
一般財源	11,328	11,895	12,609	1,158	1,158	1,158	1,158
人件費計	3,120	3,760	3,760	3,760	3,760	3,760	3,760
事務・技術（人）	0.40	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0202
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00136　中学校体育指導推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-55-00-02-00	学校体育指導推進費〔中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)部活動指導員の配置人数	人	9.00 9.00	13.00 12.00	13.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)近畿大会・全国大会出場種目数	種目	140.00 133.00	130.00 134.00	133.50 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校支援、中体連との連携は運動部活動の充実を図る上で妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	指導員数は目標数に達しなかったが、出場種目数は目標数に達した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校支援、中体連との連携により効率的に部活動が活性化している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	学校支援、中体連との連携により生徒の心身の健康が図られている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	部活動指導員１２名を９校に配置し、部活動指導を行うとともに、部活動外部指導者３０名を活用し、部活動の技術指導のサポートを行った。また、部活動地域展開に向けて、大津市中学校部活動地域展開検討懇話会を継続して設置し、部活動地域展開の在り方を検討した。令和６年度にモデル事業として実施したソフトボール、美術、陸上競技、水泳、ボルダリングについては、回数の増加や合同部活動から行政主体の活動へと拡充した。加えて、新たにサッカー、競技かるたにおいてもモデル事業を実施した。部活動の地域展開のあり方について、引き続き、懇話会の意見を参考に、本市の現状に合わせ段階的に進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	生徒がスポーツに親しみ、体力の向上が図られるよう、部活動指導員の配置などの人的支援とともに、中学校体育連盟等との連携を図り、各種大会の開催等の運動機会を確保できている。本市の部活動地域展開について、モデル事業の検証を行いながら、本市の現状を合わせ、段階的に進めていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00136　中学校体育指導推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)部活動指導員の配置人数	人	9.00 9.00	13.00 12.00	13.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	目標：大津市立中学校の部活動地域展開に係る取り組みの方向性による部活動指導員の配置人数						
(成果)近畿大会・全国大会出場種目数	種目	140.00 133.00	130.00 134.00	133.50 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	目標は過去2年間（R8年度は、R6,R7年度）の平均						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0203
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　村部　謙介
事務事業番号　00143　小学校体育指導推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	041　小学校体育指導推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 学校体育の充実、活性化及び教師の指導力の向上を図ることにより学校体育の充実を図る。 ・大津市学校体育研究発表大会 ・大津市小学校体育連盟助成事業（陸上記録会・体力向上チャレンジ事業・研究活動費・体力向上事業等） ・小学校水泳授業改善プロジェクト（水泳指導モデル研究・水泳授業の外部委託）				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スマートフォンやゲーム遊び、塾通いなどにより、児童の遊びが変容し、運動時間が減少している。このことから学校における体力向上の取組、体育科の授業改善や児童の運動機会創出の必要性が年々増している。 （見直しや改善等の経過） 教育委員会と小学校体育連盟が密に連携をとることで、体力向上に向けた取組を進めたり、子どもの実態を把握したうえで授業改善を行うなど、現状に応じた事業を進めている。 児童の泳力低下、教員の水泳指導力の低下が課題となっている。またプールの施設の老朽化、児童数の減少もあることから教員の指導力向上、外部委託による専門的な指導で児童の泳力の向上を図るよう進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市立小学校および大津市小学校体育連盟を対象に
目的(何のために)	体育科の授業改善、体力向上の取組の推進、教師の指導力向上により学校体育の充実させるため
手段(どのようなやり方で)	大津市小学校体育連盟に負担金を交付し、授業改善や体力向上につながる事業を実施したり、外部指導者による指導を児童が受けることで
成果(どのような 状態にするのか)	運動好きな児童の増加、児童の体力向上、教師の指導力向上を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,934	5,023	5,827	20,967	20,967	20,967	20,967
事業費	1,842	3,343	4,147	19,287	19,287	19,287	19,287
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	624	505	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,842	2,719	3,642	19,287	19,287	19,287	19,287
人件費計	1,092	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
事務・技術（人）	0.14	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0203
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00143　小学校体育指導推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-55-00-01-00	学校体育指導推進費〔小学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市スポーツランキング参加校	校	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00
		34.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)大津市学校体育研究発表大会参加者数	人	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		80.00	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学５年生男子児童割合	%	73.30	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		72.90	71.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学５年生女子児童割合	%	54.30	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		52.00	52.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校への支援、小体連との連携は児童の体力向上を図る上で妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	研究大会への参加率が増加、子どもの運動への意欲向上が課題			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	小体連と連携し、効率的に事業運営できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	小体連との連携を柱に児童の体力向上に貢献できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	大津っ子体力向上推進事業として効果的な授業づくりに向けた指導助言や体育用品の充実に努めることができた。また、小学校体育連盟との連携により授業研究等の児童の体力向上に係る取り組みを推進できた。水泳授業改善として、外部委託や水泳授業のモデル研究に取り組み、教員の指導力向上、児童の泳力向上につながるよう進めている。授業以外では、小学校体育連盟との連携により、陸上記録会、大津市スポーツランキングへの参加の啓発等で児童の心身の健康促進や教員の指導力の向上につながっている。しかし、「子どもが運動を楽しい」と感じる割合が若干低下しているため、更なる授業改善に努めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	大津市小学校体育連盟と連携しながら、陸上記録会や授業研究等を実施し、小学生が運動に親しみ体力の向上につながる取り組みを進めている。近年、子どもが運動する機会の減少が懸念されており、引き続き、小学校における体育授業の充実、体を動かす機会の確保等、小学校体育連盟と連携を密にしながら、児童の体力向上及び運動への意欲向上につながる取組を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00143　小学校体育指導推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市スポーツランキング参加校	校	37.00 34.00	37.00 34.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00
	指標説明	市内公立小学校参加校数						
(活動)大津市学校体育研究発表大会参加者数	人	80.00 80.00	80.00 80.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	４回（４ブロック）ののべ人数						
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学５年生男子児童割合	%	73.30 72.90	80.00 71.90	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	全国体力・運動能力、運動習慣等調査　目標値は滋賀県平均						
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学５年生女子児童割合	%	54.30 52.00	80.00 52.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	全国体力・運動能力、運動習慣等調査　目標値は滋賀県平均						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0204
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中西　香織
事務事業番号　00146　学校図書充実事業〔小・中学校〕

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	003	子どもの教育の充実			
取組の方向性	001	次代を生きる力の育成			
事務事業	015	学校図書充実事業〔小・中学校〕			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律				
事業概要	児童、生徒の読書活動を推進するため、小中学校の学校図書館の蔵書等の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもが楽しく自主的に読書に親しみ、読書習慣が身につけられるよう、本市をはじめ社会全体で子どもの読書活動を推進することが重要である。 （これまでの見直し） 蔵書数の目標値に対して達成率の低い学校に重点的に図書充実費の予算措置を行った。また、市立図書館との連携を図り、蔵書数の不足に対応した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各小中学校を対象に
目的(何のために)	各小中学校図書館の環境の充実を図るため
手段(どのようなやり方で)	各校において図書を選定し、図書室用図書を購入することで
成果(どのような状態にするのか)	小中学校の蔵書充実により、児童生徒の読書活動の環境整備を推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	33,443	31,771	31,869	33,158	33,158	33,158	33,158
事業費	33,053	31,371	31,469	32,758	32,758	32,758	32,758
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	33,053	31,371	31,469	32,758	32,758	32,758	32,758
人件費計	390	400	400	400	400	400	400
事務・技術（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0204
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00146　学校図書充実事業〔小・中学校〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-40-00	学校図書充実事業費〔小・中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)図書購入数（小学校）	冊	17,000.00 9,859.00	11,000.00 10,295.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00
(活動)図書購入数（中学校）	冊	12,000.00 7,515.00	6,000.00 6,214.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00
(成果)１人あたりの蔵書数（小学校）	冊	21.00 18.40	19.00 18.80	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00
(成果)１人あたりの蔵書数（中学校）	冊	20.00 20.80	20.00 20.80	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校図書を充実させることは教育活動において重要である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	小学校では１人あたりの蔵書数が増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体貸出や選書会等で子どもたちに合わせた読書環境を整えた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	児童・生徒の読書活動の環境づくりに貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度は学校司書を１名増員し、６名を１２校に通年で配置し、継続した学校図書館の環境整備を行ったことで、学校図書館を利用する児童生徒の増加や不読率の改善など、子どもの読書活動の充実を図ることができた。市立図書館と連携し、電子図書館を活用し、紙の蔵書だけでなく、電子図書における蔵書の充実を図っている学校も見られた。また、４８校がブックサポーター（図書ボランティア）の活用を申請し、地域や保護者の協力を得て読書環境の整備活動が実施されている。引き続き、児童生徒の読書活動推進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校図書館の計画的な蔵書の充実や学校司書の活用、市立図書館、ブックサポーター（図書ボランティア）との連携を図り、児童生徒の読書活動を推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00146　学校図書充実事業〔小・中学校〕

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)図書購入数（小学校）	冊	17,000.00 9,859.00	11,000.00 10,295.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00
	指標説明	小学校の図書室図書購入冊数（「１人あたりの蔵書数」を達成するため、現在の蔵書数から不足している冊数を購入する）						
(活動)図書購入数（中学校）	冊	12,000.00 7,515.00	6,000.00 6,214.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00
	指標説明	中学校の図書室図書購入冊数（「１人あたりの蔵書数」を達成するため、現在の蔵書数から不足している冊数を購入する）						
(成果)１人あたりの蔵書数（小学校）	冊	21.00 18.40	19.00 18.80	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00	19.00 0.00
	指標説明	小学校の蔵書数／児童数（第四次　大津市子ども読書推進計画の指標における目標値を採用）						
(成果)１人あたりの蔵書数（中学校）	冊	20.00 20.80	20.00 20.80	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	中学校の蔵書数／生徒数（第四次　大津市子ども読書推進計画の指標における目標値を採用）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0205
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　北條　麻生
事務事業番号　00147　小学校管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	003	子どもの教育の充実			
取組の方向性	001	次代を生きる力の育成			
事務事業	016	小学校管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学校教育法第５条				
事業概要	（事業概要） 小学校３７校の管理運営及び教育活動に必要な経費の確保と効率的な運用を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 厳しい財政状況のなか、教育活動を充実させるため、一層の教育環境整備が求められている。 （見直しや改善等の経過） 一部の整備予算については各校に再配当し、円滑かつ弾力的な執行を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童を対象に
目的(何のために)	各小学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うため
手段(どのようなやり方で)	管理運営に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような 状態にするのか)	教育環境の整備、充実を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	524,513	535,455	559,622	554,835	554,835	554,835	554,835
事業費	522,113	532,931	557,098	552,311	552,311	552,311	552,311
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	23	11	16	33	33	33	33
一般財源	522,090	532,920	557,082	552,278	552,278	552,278	552,278
人件費計	2,400	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0205
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00147　小学校管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-05-06-00-01-00	学校管理運営費（小）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教材及び備品	千円	117,956.00 117,844.00	113,489.00 120,658.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00
(成果)児童一人当たりの教材・設備費	円	6,605.00 6,599.00	6,430.00 6,836.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校の設置者として管理運営及び教育活動の経費を負担している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各校の教育環境の整備に努めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校に予算を再配当することで学校が主体的に予算を執行できる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	学校の教育環境の整備を図ることにより教育の充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	各小学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うための必要経費を確保し効率的に執行した。また、各校への予算配当を行うことで円滑かつ主体的な学校経営を促し、学校のマネジメント力向上につながっている。引き続き、学校の状況を把握し、適正な予算確保と執行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	継続的に教育環境の整備を行い、更なる充実を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00147　小学校管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教材及び備品	千円	117,956.00 117,844.00	113,489.00 120,658.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00	112,691.00 0.00
	指標説明	目標値：地方交付税単位費用算定基礎に級数を乗じて算定：決算額（学校配当分）						
(成果)児童一人当たりの教材・設備費	円	6,605.00 6,599.00	6,430.00 6,836.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00	6,511.00 0.00
	指標説明	教材用図書及び備品／児童数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0206
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　北條　麻生
事務事業番号　00163　中学校管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	003	子どもの教育の充実			
取組の方向性	001	次代を生きる力の育成			
事務事業	020	中学校管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	学校教育法第５条				
事業概要	（事業概要） 中学校１８校の管理運営及び教育活動に必要な経費の確保と効率的な運用を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 厳しい財政状況のなか、教育活動を充実させるため、一層の教育環境整備が求められている。 （見直しや改善等の経過） 一部の整備予算については各校に再配当し、円滑かつ弾力的な執行を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生徒を対象に
目的(何のために)	中学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うため
手段(どのようなやり方で)	管理運営にかかわる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような 状態にするのか)	教育環境の整備、充実を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	323,891	349,959	367,107	364,886	364,886	364,886	364,886
事業費	320,731	346,715	363,863	361,642	361,642	361,642	361,642
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	23	10	11	28	28	28	28
一般財源	320,708	346,705	363,852	361,614	361,614	361,614	361,614
人件費計	3,160	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244
事務・技術（人）	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0206
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00163　中学校管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-05-07-00-01-00	学校管理運営費（中）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）教材及び備品	千円	64,472.00 81,613.00	62,152.00 83,233.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00
（成果）児童一人当たりの教材・設備費	千円	7,410.00 9,380.00	7,264.00 9,728.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校の設置者として管理運営及び教育活動の経費を負担している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各校の教育環境の整備に努めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校に予算を再配当することで学校が主体的に予算を執行できる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	学校の教育環境の整備を図ることにより教育の充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	各中学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うための必要経費を確保し効率的に執行した。また、各校への予算配当を行うことで円滑かつ主体的な学校経営を促し、学校のマネジメント力向上につながっている。引き続き、学校の状況を把握し、適正な予算確保と執行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	継続的に教育環境の整備を行い、更なる充実を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00163　中学校管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）教材及び備品	千円	64,472.00 81,613.00	62,152.00 83,233.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00	63,089.00 0.00
	指標説明	目標値：地方交付税単位費用算定基礎に級数を乗じて算定：決算額（学校配当分）						
（成果）児童一人当たりの教材・設備費	千円	7,410.00 9,380.00	7,264.00 9,728.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00	7,388.00 0.00
	指標説明	教材用図書及び備品／児童数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0207
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中田　京華
事務事業番号　00186　児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	003	子どもの教育の充実			
取組の方向性	001	次代を生きる力の育成			
事務事業	024	児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）			
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					

事業概要	（事業概要） 山間地域には、学校までの通学距離が長く、加えて交通の便の悪い地域に居住する児童・生徒も多い。そうした地域の児童・生徒たちの登下校時の通学手段確保の目的で本事業を実施している。また、交通不便地の教育活動を保障するために、校外学習などの活動の際にもスクールバスの運行等を行っている。
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 公共交通機関（路線バス）の廃線や減便されている当該地区の交通の不便さは増す傾向にあり、児童・生徒の通学への影響が懸念される。 （見直しや改善等の経過） 路線バスの廃線や減便に伴う対応を行っている。バスの減便により通学が困難となった地域に居住する児童の入学に伴い、令和６年度より比叡平地域でのタクシー送迎を再開した。また、令和７年度より大石のスクールバスを直営から民間委託に切り替えた。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	葛川、伊香立、山中比叡平、大石、和邇地域に居住する児童及び生徒を対象に
目的(何のために)	学校からの距離が遠く、交通不便地に居住する児童及び生徒の登下校や教育活動を保障するため
手段(どのようなやり方で)	スクールバス及びスクールタクシーの運行及び路線バス運行への補助を行うことで
成果(どのような 状態にするのか)	登下校の交通手段を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,897	24,899	24,968	26,927	26,927	26,927	26,927
事業費	17,493	23,459	23,528	25,487	25,487	25,487	25,487
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	17,493	23,459	23,528	25,487	25,487	25,487	25,487
人件費計	1,404	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
事務・技術（人）	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0207
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00186　児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-41-00-02-00	児童・生徒通学バス運行事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)スクールバス運行本数	本	850.00 840.00	850.00 818.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00
(成果)スクールバス利用人数	人	42.00 61.00	42.00 56.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	義務教育の児童生徒の通学手段の確保の必要性から、妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	交通不便地の児童生徒の通学手段の確保が図られ、有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校や地域の実情に応じて実施しており、効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	通学手段を確保することで、義務教育の円滑な実施に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	ダイヤ改正の影響緩和を目的とした臨時バスだけでなく、各校のスケジュールに応じた臨時バスを各交通事業者に依頼することで、児童生徒の通学手段の確保に努めている。今後も公共交通機関（路線バス）の廃線及び減便の動向、特に交通不便地の状況を注視しながら、必要に応じて事業を見直し、安全性を考慮した通学手段を確保するよう当該事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	本事業により、義務教育課程の児童生徒の通学手段を確保し、交通不便地に居住する児童生徒の教育活動を保障することができている。今後も継続して事業を実施し、義務教育の円滑な実施に貢献する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00186　児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)スクールバス運行本数	本	850.00 840.00	850.00 818.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00
	指標説明	児童・生徒の登下校の手段としてのスクールバスの運行本数（小学校２台）						
(成果)スクールバス利用人数	人	42.00 61.00	42.00 56.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00	42.00 0.00
	指標説明	大石小、葛川小・中学校のスクールバスの利用人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0208
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中田　京華
事務事業番号　00188　奨学資金給付事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	013　奨学資金給付事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市奨学資金給与条例、大津市奨学基金条例				
事業概要	（事業概要） 向学心があるにもかかわらず、経済的事情により高等学校に進学することが困難な生徒に対し奨学金を給付する。 １人あたり・・・月額１０，０００円×１２ヶ月×３年間				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高等学校進学を希望し向上心があるにも関わらず、家庭の経済事情により進学が困難な生徒が存在する。 （見直しや改善等の経過） 高等学校授業料無償化に伴い、本事業の必要性を検討したが、教材をはじめとする必要経費等の負担軽減を目的に奨学金の給付を継続することとした。さらに、文部科学省の「子どもの学習費調査」（平成３０年度実施）を踏まえ、令和４年度から月額７，０００円を月額１０，０００円へ増額した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	経済的事情により高等学校に進学することが困難な生徒を対象に
目的(何のために)	向学心が強く能力がある生徒が高等学校に進学するため
手段(どのようなやり方で)	奨学金を給付することで
成果(どのような状態にするのか)	高校生活における経済的負担軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	9,960	9,920	10,050	15,270	13,110	10,710	10,710
事業費	6,840	6,720	6,850	12,070	9,910	7,510	7,510
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,840	6,720	6,850	12,070	9,910	7,510	7,510
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	3,120	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術（人）	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0208
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00188　奨学資金給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-30-63-00-01-00	奨学資金	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)奨学金の給付人数（新規）	人	20.00 18.00	20.00 20.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)給付対象者の高校卒業率	%	100.00 94.74	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	進学困難な生徒が存在するため、奨学資金を給付することは妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	奨学生の経済的な不安を軽減し、学業や部活動に励むことができる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	寄附金など基金を財源として本事業を行っているため効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	奨学生は将来の夢への展望を持つなど、人間的成長が見られた			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度に高等学校を卒業した奨学生の修了報告において、大津市奨学資金が、学費や部活動費などとして充てられ、充実した高校生活を送ることができたとの意見が多数伺えた。今後は、公立高等学校の授業料実質無償化等に伴う制度見直しを検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	高校進学や学業継続に対する経済的な負担や不安を軽減し、学業や部活動に励むことができており、事業の必要性は高いと捉え、今後は、公立高等学校の授業料実質無償化等に伴う制度見直しを検討し、引き続き奨学金の支給並びに生徒及び保護者への周知を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00188　奨学資金給付事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)奨学金の給付人数（新規）	人	20.00 18.00	20.00 20.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	選考委員会により決定した給付者の数						
(成果)給付対象者の高校卒業率	%	100.00 94.74	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	高校を卒業した生徒の割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0209
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　内田　弘輝
事務事業番号　00189　小学校就学援助事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	002　小学校就学援助事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校教育法第１９条　大津市就学援助費給付要綱				
事業概要	（事業概要） 経済的理由により、就学困難な児童の保護者に対して学用品等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 賃金上昇を図る動きはあるものの、物価高騰が著しく、経済的に厳しい生活状況に置かれている世帯が多い。 （見直しや改善等の経過） 要綱改正を行い、準要保護者の定義にかかる生活保護法による算出の基準年を変更した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	大津市在住の児童の保護者で要保護又は準要保護の該当者を対象に
目的（何のために）	子どもたちが公平に義務教育を受けられる環境を整えるために
手段（どのようなやり方で）	就学に必要な費用を給付することで
成果（どのような 状態にするのか）	就学に係る費用の負担を軽減する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	199,324	185,635	84,804	87,480	87,480	87,480	87,480
事業費	193,794	179,979	79,148	81,824	81,824	81,824	81,824
国庫支出金	8,577	9,682	7,432	7,403	7,403	7,403	7,403
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	185,217	170,297	71,716	74,421	74,421	74,421	74,421
人件費計	5,530	5,656	5,656	5,656	5,656	5,656	5,656
事務・技術（人）	0.55	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.31	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0209
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00189　小学校就学援助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-10-67-00-02-00	就学援助費事業費（小学校）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)就学援助事業にかかる制度周知回数（新）	回	0.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)制度不知による申請漏れ件数（新）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就学援助事業にかかる給付額（年３回支給）（旧）	千円	215,135.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		193,794.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就学援助費受給認定割合（旧）	%	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校教育法第１９条に基づいて市が実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	就学に係る費用の負担を軽減している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保護者又は学校長に給付することで保護者負担を軽減している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもたちが公平に義務教育を受けられる環境を整えている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価と同額の給付を行った。引き続き経済的に厳しい家庭の児童生徒が安心して学べるよう、国や他都市の給付基準、給付額等を注視しつつ事業を進めるとともに、保護者や関係機関へ就学援助制度の周知に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	経済的な支援により、児童生徒の円滑な学校生活につながっている。引き続き、国や他市の状況を注視しつつ事業を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00189　小学校就学援助事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)就学援助事業にかかる制度周知回数（新）	回	0.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	申請書発送、ホームページ掲載、チラシ配布など広く制度を周知した回数 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(成果)制度不知による申請漏れ件数（新）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	「制度を知らず申請ができなかった」と問い合わせがあった件数 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(活動)就学援助事業にかかる給付額（年３回支給）（旧）	千円	215,135.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		193,794.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	目標・・・当初予算額、実績・・・実績額 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(成果)就学援助費受給認定割合（旧）	%	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	児童生徒数に対する認定者割合 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0210
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　内田　弘輝
事務事業番号　00190　中学校就学援助事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	015　中学校就学援助事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校教育法第１９条　大津市就学援助費給付要綱				
事業概要	（事業概要） 経済的理由により、就学困難な生徒の保護者に対して学用品等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 賃金上昇を図る動きはあるものの、物価高騰が著しく、経済的に厳しい生活状況に置かれている世帯が多い。 （見直しや改善等の経過） 要綱改正を行い、準要保護者の定義にかかる生活保護法による算出の基準年を変更した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	大津市在住の生徒の保護者で要保護又は準要保護の該当者を対象に
目的（何のために）	子どもたちが公平に義務教育を受けられる環境を整えるために
手段（どのようなやり方で）	就学に必要な費用を給付することで
成果（どのような 状態にするのか）	就学に係る費用の負担を軽減する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	179,005	172,892	190,861	198,734	198,734	198,734	198,734
事業費	173,475	167,236	185,205	193,078	193,078	193,078	193,078
国庫支出金	5,511	6,556	9,204	8,486	8,486	8,486	8,486
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	167,964	160,680	176,001	184,592	184,592	184,592	184,592
人件費計	5,530	5,656	5,656	5,656	5,656	5,656	5,656
事務・技術（人）	0.55	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.31	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0210
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　00190　中学校就学援助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-10-71-00-02-00	就学援助費事業費（中学校）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)就学援助事業にかかる制度周知回数（新）	回	0.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)制度不知による申請漏れ件数（新）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就学援助事業にかかる給付額（年３回支給）（旧）	千円	207,862.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		173,475.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就学援助費受給認定割合（旧）	%	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		16.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校教育法第１９条に基づいて市が実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	就学に係る費用の負担を軽減している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保護者又は学校長に給付することで保護者負担を軽減している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもたちが公平に義務教育を受けられる環境を整えている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価と同額の給付を行った。引き続き経済的に厳しい家庭の児童生徒が安心して学べるよう、国や他都市の給付基準、給付額等を注視しつつ事業を進めるとともに、保護者や関係機関へ就学援助制度の周知に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	経済的な支援により、児童生徒の円滑な学校生活につながっている。引き続き、国や他市の状況を注視しつつ事業を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00190　中学校就学援助事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)就学援助事業にかかる制度周知回数（新）	回	0.00 0.00	10.00 10.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	申請書発送、ホームページ掲載、チラシ配布など広く制度を周知した回数 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(成果)制度不知による申請漏れ件数（新）	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	「制度を知らず申請ができなかった」と問い合わせがあった件数 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(活動)就学援助事業にかかる給付額（年３回支給）（旧）	千円	207,862.00 173,475.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	目標・・・当初予算額、実績・・・実績額 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						
(成果)就学援助費受給認定割合（旧）	%	20.00 16.46	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	児童生徒数に対する認定者割合 ※制度周知の成果を測る指標に変更した。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0211
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中濱　翔伍
事務事業番号　01932　小学校ＩＣＴ環境整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	008　小学校ＩＣＴ環境整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） ＩＣＴ機器を効果的に活用した「分かりやすく深まる授業」を行うことで、学力の向上を図る。また、校務を効率化することで、教職員の働き方改革を推進して児童と向き合う時間を増やし、きめ細かな指導を行い、教育活動の質の改善を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 第３期大津市教育振興基本計画の施策項目である「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」のため、教育の情報化に向けた学校ＩＣＴ環境整備事業の推進が求められている。 （見直しや改善等の経過） 小学校におけるプログラミング教育の実施や、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた環境整備を行うなど、ＩＣＴ機器を活用した教育活動の充実を図った。また、校務支援システムの改修等を行い、校務の効率化を図ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童、教職員を対象として
目的(何のために)	第３期大津市教育振興基本計画の施策項目「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」を目的に、各小学校のＩＣＴ機器を整備し、情報教育の環境整備を図るために
手段(どのようなやり方で)	学校ＩＣＴ環境整備に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような 状態にするのか)	学校ＩＣＴ環境の整備、充実を図ることにより、ＩＣＴ活用能力を発揮できる人材を育成する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	349,079	346,453	433,662	601,563	711,983	841,716	788,699
事業費	335,833	333,333	420,542	588,443	698,863	828,596	775,579
国庫支出金	5,130	293	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	330,703	333,040	420,542	588,443	698,863	828,596	775,579
人件費計	13,246	13,120	13,120	13,120	13,120	13,120	13,120
事務・技術（人）	1.57	1.42	1.42	1.42	1.42	1.42	1.42
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.25	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0211
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　01932　小学校ＩＣＴ環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-05-16-00-01-00	学校ＩＣＴ環境整備事業費（小）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教員のＩＣＴ活用指導力	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		92.08	93.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)授業におけるＩＣＴ活用の向上	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		99.50	99.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	児童の情報活用能力及び教員の資質向上に向けた整備であり妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	学校における環境整備と人材育成を進めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	全校で統一した整備を進めており効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	超スマート社会のニーズに対応した教育の推進に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	GIGAスクール構想に基づき、令和4年度に市内全小学校の児童用学習端末の整備が完了し、授業におけるICT活用については、引き続き向上が見られた。 ICTの日常的な活用から効果的な活用が図られるよう、情報化リーダー研修でのグループ研究、外部講師による研修、また、指導主事による学校訪問研修の実施により、教員のICT活用指導力の向上に努めた。 教員のICT活用指導力の目標値を達成できるよう、引き続き、研修等を通じて教員のICT活用指導力の向上を図り、学校間などのICT活用格差の是正に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、学習端末などの情報基盤の安定的な稼働に努めるとともに、教員のICT活用指導力を高め、ICTのより効果的な活用を図りながら、教職員の業務の効率化を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01932　小学校ＩＣＴ環境整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教員のＩＣＴ活用指導力	%	95.00 92.08	95.00 93.33	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	授業にＩＣＴを効果的に活用して指導する能力						
(成果)授業におけるＩＣＴ活用の向上	%	95.00 99.50	95.00 99.60	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	授業で週に３回以上活用している割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0212
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中濱　翔伍
事務事業番号　01933　中学校ＩＣＴ環境整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	039　中学校ＩＣＴ環境整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） ＩＣＴ機器を効果的に活用した「分かりやすく深まる授業」を行うことで、学力の向上を図る。また、校務を効率化することで、教職員の働き方改革を推進して生徒と向き合う時間を増やし、きめ細かな指導を行い、教育活動の質の改善を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 第３期大津市教育振興基本計画の施策項目である「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」のため、教育の情報化に向けた学校ＩＣＴ環境整備事業の推進が求められている。 （見直しや改善等の経過） 中学校におけるプログラミング教育の実施や、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた環境整備を行うなど、ＩＣＴ機器を活用した教育活動の充実を図った。また、校務支援システムの改修等を行い、校務の効率化を図ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生徒、教職員を対象として
目的(何のために)	第３期大津市教育振興基本計画の施策項目「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」を目的に、各中学校のＩＣＴ機器を整備し、情報教育の環境整備を図るために
手段(どのようなやり方で)	学校ＩＣＴ環境整備に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような 状態にするのか)	学校ＩＣＴ環境の整備、充実を図ることにより、ＩＣＴ活用能力を発揮できる人材を育成する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	113,115	112,119	165,675	269,762	358,662	421,775	395,983
事業費	103,769	102,639	156,195	260,282	349,182	412,295	386,503
国庫支出金	2,496	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	101,273	102,639	156,195	260,282	349,182	412,295	386,503
人件費計	9,346	9,480	9,480	9,480	9,480	9,480	9,480
事務・技術（人）	1.07	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.25	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0212
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　01933　中学校ＩＣＴ環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-05-46-00-01-00	学校ＩＣＴ環境整備事業費（中）	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教員のＩＣＴ活用指導力	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		83.94	87.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)授業におけるＩＣＴ活用の向上	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	生徒の情報活用能力及び教員の資質向上に向けた整備であり妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	学校における環境整備と人材育成を進めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	全校で統一した整備を進めており効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	超スマート社会のニーズに対応した教育の推進に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	ICT機器の授業での活用が進み、授業におけるICT活用について、引き続き100%を維持している。 ICTの日常的な活用から効果的な活用が図られるよう、情報化リーダー研修でのグループ研究、外部講師による研修、また、指導主事による学校訪問研修の実施により、教員のICT活用指導力の向上に努めた。 教員のICT活用指導力の目標値を達成できるよう、引き続き、研修等を通じて教員のICT活用指導力の向上を図る。また、ICTのより効率的な活用が図られるよう、グループ研究、研修を継続して実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、学習端末などの情報基盤の安定的な稼働に努めるとともに、教員のICT活用指導力を高め、ICTのより効果的な活用を図りながら、教職員の業務の効率化を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01933　中学校ＩＣＴ環境整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教員のＩＣＴ活用指導力	%	95.00 83.94	95.00 87.87	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	授業にＩＣＴを効果的に活用して指導する能力						
(成果)授業におけるＩＣＴ活用の向上	%	95.00 100.00	95.00 100.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	授業で週に３回以上活用している割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0213
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　菅沼　智也
事務事業番号　02510　科学の子育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	036　科学の子育成事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	生涯学習センター条例　第３条				
事業概要	市立小学校の児童に科学館施設を使った学習機会を提供し、学校現場では得られない体験を通して科学に対する興味・関心を高め、科学的思考を育成する。 ・かがくのこ				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取り巻く社会環境） 科学技術の進歩が著しい昨今においても児童の理科離れの傾向が見られることから、魅力ある事業を実施して科学に関する興味・関心を高める取組が求められている。 （見直しや改善等の経過） 各小学校の主体性を重視する目的で、全校参加を選択制へ、実施学年も6年生対象から学年に幅を持たせる形に変更し、併せて名称も「移動教室」から「かがくのこ」に改めた。学習内容は、プラネタリウムを利用した天文学習と展示ホールの展示物を活用した学習を必須とし、希望制で実験学習を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校の児童を対象に、
目的(何のために)	科学に対する興味・関心を高め、科学的思考を育成するため、
手段(どのようなやり方で)	科学館施設を活用した学習機会を提出することで、
成果(どのような状態にするのか)	生活に密着した科学技術の有用性に気付き、更に発展的な学習意欲の向上につなげる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	10,387	3,859	0	0	0	0	0
事業費	4,024	2,979	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,200	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,824	2,979	0	0	0	0	0
人件費計	6,363	880	0	0	0	0	0
事務・技術（人）	0.16	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0213
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　02510　科学の子育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-40-36-00-03-00	科学の子育成事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	70.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		80.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加者数	人	3,400.00	3,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,740.00	3,135.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学習指導要領で科学館やプラネタリウム等の活用が求められている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	児童の興味・関心を高めることで、授業への意欲が向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校からの移動手段や時間が学校事情により差異が生じる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	参加した児童の満足度が高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度より、市内各小学校が主体的に取り組めることを目的に、従来の「移動教室」の内容を見直した。全校参加を選択制に、実施学年にも幅を持たせる形に変更し、併せて名称も「かがくのこ」に改めた。参加校に対しては、学習ノートを利用した事前・事後学習を必須とし、見通しを持った学習ができるように工夫するとともに、実施前後にアンケートを行うことで、事業の成果や課題の把握に努めている。また、当日参加できなかった児童への学習保障として「かがくのこ体験」を実施している。 令和８年度より、予算の小事業としては「体験的学習推進事業費」に統合されるため、コストや職員人工等を令和８年度以降を０としているが、統合先にて計算している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	次代を担う子どもたちの科学に対する興味や関心を高め、科学的思考を育成することは大変意義深いものがある。将来的に人口減少による対象者の減少が見込まれるが、さらなる創意工夫を凝らして学習意欲の向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02510　科学の子育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	70.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		80.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	事業を実施した総回数。令和８年度から体験的学習推進事業費に統合されるため、目標値を０とする。人工やコストは統合先で計算。						
(成果)参加者数	人	3,400.00	3,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,740.00	3,135.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	事業参加者の年間総数。令和８年度から体験的学習推進事業費に統合されるため、目標値を０とする。人工やコストは統合先で計算。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0214
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　中西　香織
事務事業番号　03416　学力向上推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	001　次代を生きる力の育成				
事務事業	005　学力向上推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	市実施要項				
事業概要	（事業概要） 確かな学力を育成するため、授業改善を進め、学校の主体的な取組を支援する事業を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 小・中学校の学習指導要領においては、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重要である。加えて、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現が重要となってきている。 （見直しや改善等の経過） 授業力向上研修会では、言語活動の視点を踏まえた授業改善について指導を行った。また、学校訪問においては、各校の課題に応じたきめ細やかな助言を行い、学ぶ力向上策がより実効性のあるものとなるよう指導することで事業の見直し、改善を図ってきた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市立小・中学校を対象として
目的（何のために）	大津市として進める学力向上策の方向性を示すとともに、学校の主体的な取組を支援するため
手段（どのようなやり方で）	学校訪問や研修会等で指導や支援を行うことで
成果（どのような 状態にするのか）	各校における授業改善等の取組の推進を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	45,284	45,481	43,082	43,282	43,282	43,282	43,282
事業費	37,406	37,401	35,002	35,202	35,202	35,202	35,202
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	264	296	300	300	300	300	300
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	37,142	37,105	34,702	34,902	34,902	34,902	34,902
人件費計	7,878	8,080	8,080	8,080	8,080	8,080	8,080
事務・技術（人）	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0214
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　03416　学力向上推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-36-00-10-00	学力向上推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校からの要請に応じた訪問の校数	校	55.00 55.00	55.00 55.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
(成果)主体的・対話的で深い学びに関する学校評価	点	2.80 2.76	2.80 2.80	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	授業改善のための学校訪問や研修を行うことは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	授業改善をより進めていく必要がある。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各校の目的や教育課程に沿った小売る敵な訪問や研修を行えた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	主体性を持って学力向上に取り組む学校が増えた。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	全国学力・学習状況調査の結果を活用して自校の課題を把握し、共通実践することで成果を上げている学校が見られた。第４期大津市教育振興基本計画の基本理念「一人ひとりが輝き、ともに未来をつくる大津の教育」に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教職員による一方的な講義型の授業から、児童生徒が学びの主体として仲間とともに協働的に学ぶ授業へ転換を図るため、引き続き、学校訪問や研修等を通して、子どもが主体的に学ぶことができるよう、学校の授業改善を後押ししていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	教員の指導力の向上と授業改善を組織的に取り組み、成果をあげる学校も見られる。教職員による一方的な講義型の授業から、児童生徒が学びの主体として仲間とともに協働的に学ぶ授業へ転換を図るため、研修や学校訪問の充実を図り、学校が主体的に取り組みを進められるよう指導支援していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　03416　学力向上推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校からの要請に応じた訪問の校数	校	55.00 55.00	55.00 55.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
	指標説明	指導主事が、学力向上の視点で訪問する学校数						
(成果)主体的・対話的で深い学びに関する学校評価	点	2.80 2.76	2.80 2.80	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00
	指標説明	学校関係者評価結果の平均点（３点満点）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0215
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南出　晃
所属　2402　教育委員会学校教育課　記入者　小鴨　一磨
事務事業番号　04155　学校夢づくりプロジェクト推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	023　学校夢づくりプロジェクト推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校夢づくりプロジェクト実施概要				
事業概要	子どもたちの思いをもとに、地域・学校が協働して創意工夫した夢のあるプロジェクトに取り組み、主体的に学び心豊かに生きる力を育成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ・地域社会と深く関わる機会が減少し、人間関係がうまくつくれない子どもの増加等が社会的に問題になっている。 （見直しや改善等の経過） これまでの成果と課題を踏まえ、地域との協働やキャリア教育の視点など、大切にしたいポイントを示し、各校の取組に生かせるようにした。令和６年度からは希望制とし、学校の主体性を高める制度設計とした。また、「連携型」を設け、学校の枠を越えて子どもたちの学びを広げ、深めることに寄与する事業とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校・中学校を対象に
目的(何のために)	児童・生徒が自分らしい生き方や夢を実現するための力や、主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力を育成するため
手段(どのようなやり方で)	地域・学校が力をあわせて創意工夫を凝らした夢のあるプロジェクトに取り組むことで
成果(どのような状態にするのか)	特色ある学校づくりを推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	20,468	21,231	23,502	23,502	23,502	23,502	23,502
事業費	12,902	13,471	15,742	15,742	15,742	15,742	15,742
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,902	8,225	4,541	0	0	0	0
一般財源	11,000	5,246	11,201	15,742	15,742	15,742	15,742
人件費計	7,566	7,760	7,760	7,760	7,760	7,760	7,760
事務・技術（人）	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0215
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
事務事業番号　04155　学校夢づくりプロジェクト推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-04-00	学校夢づくりプロジェクト推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）地域との連携・協働が意識された取組	校	55.00 55.00	55.00 55.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
（成果）特色ある学校づくりができた学校	%	100.00 100.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
（成果）児童・生徒が主体的に学ぶことができた学校	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域に合わせた特色化を図ることが出来るため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもの思いを元にした特色ある学校づくりにつながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校裁量により、独自性のある計画立案や予算執行ができている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの思いや願いが実現する取り組みにつながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	これまでの成果と課題を踏まえ、さらに子どもたちの思いを大切にした取組や地域等と連携した取組が増加している。令和６年度より新たに設置した「連携型」は希望校が増加し、学校の枠を越えて子どもたちの学びを広げ、深めようとする学校の姿勢が見られた。「学校企画型」と「連携型」の２つを設けたことで、学校の枠を越えた企業や大学等との連携により、子どもたちの学びがさらに深まった。 企画力やマネジメント力、発信力は学校ごとの差があるため、他校の良い取組を広く周知するなどして、各校の特色ある学校づくりの推進につなげたい。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校夢づくりプロジェクトは「子どもたちの思いを大切にすること」や「地域等と幅広く連携すること」を事業趣旨として実施しており、各学校がそれらの趣旨を意識し、創意工夫しながら取り組みを行うことで、子どもたちの主体的に学ぶ態度や自らの将来を幅広い視野を持ちながら選択していく力の育成を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2402　教育委員会学校教育課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04155　学校夢づくりプロジェクト推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）地域との連携・協働が意識された取組	校	55.00 55.00	55.00 55.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
	指標説明	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）等、地域の意見や願いを参考にしながら、取組を進めた学校						
（成果）特色ある学校づくりができた学校	%	100.00 100.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	【学校長アンケート】「学校長が思い描く特色ある学校づくりの推進に、このプロジェクトは有益である」の質問に対して、肯定的な回答であった学校長の割合						
（成果）児童・生徒が主体的に学ぶことができた学校	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	【学校長アンケート】「この事業に取り組むことで、児童・生徒が主体的に学び、心豊かに生きていく力を育むことができた」の質問に対して、肯定的な回答であった学校長の割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0216
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　冨永　幸彦
所属　2404　教育委員会教育センター　記入者　小川　敦士
事務事業番号　00139　研究活動事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	021　研究活動事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	生涯学習センター条例第３条（３）				
事業概要	（事業概要） 幼稚園・こども園・小学校・中学校一貫した資質・能力の育成を目指し、専門的な見地から調査研究を行う「学校園教育研究委員会」を開催し、実践的な研究に取り組む。また、教科等領域別研究会では、自主研究活動の活性化を図り、教科・領域等の専門的な研究を進めることで、授業改善や保育の見直し、指導の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 教職員は、次代に求められる学校教育を実現するため、教育の専門家としての資質の向上を図ることが求められている。 （見直しや改善等の経過） 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりや保育・学習指導の接続の在り方など、実践的な指導力を身につけることができるように研究活動の内容や方法を見直してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園・こども園・保育園・小・中学校教職員を対象として
目的(何のために)	研究の推進、教職員の指導力の向上のために
手段(どのようなやり方で)	学校園教育研究委員会、教科等領域別研究会４３部会等の事業を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	教職員の主体的な研究を活性化し、指導力の向上を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	10,916	15,697	14,348	14,364	14,364	14,364	14,364
事業費	336	257	348	364	364	364	364
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	336	257	348	364	364	364	364
人件費計	10,580	15,440	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
事務・技術（人）	1.10	1.60	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.50	0.60	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0216
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
事務事業番号　00139　研究活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-01-00	研究活動費	教育委員会教育センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教科等領域別研究会開催数	回	0.00	0.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)若手教員育成に係る協議会の開催	回	0.00	0.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)教科等領域別研究会参加者数	人	0.00	0.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)若手教員育成に係る要請学校園訪問数	回	0.00	0.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	保育・授業改善等の指導力向上を目的として事業を進めているため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	教職員の自主的な研究を促し、指導力の向上につながっているため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保育や授業実践に生かせる教材の研究や開発を行っているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	教職員の実践的な指導力の向上に貢献しているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	幼児・児童・生徒に求められる資質・能力の育成を目指し、教員の実践的な指導力の向上を図るため、教科等領域別研究会において、主任会や悉皆の研修を開催し、研究体制の強化を図った。また、「学校園教育研究委員会」においては、幼稚園・こども園・小学校・中学校一貫した資質・能力の育成を目指し、「主体性」に着目した研究を行った。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校園教育研究委員会を通して、幼こ小中で一貫した子どもたちの資質能力の育成を図るため、教職員の意識改革や実践的な指導力の向上について研究するとともに、学校園の連携や円滑な接続を推進している。また、教科等領域別研究会における自主的な研究・研修等により、学校園現場の課題やニーズに応じた主体的な取組を実施している。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00139　研究活動事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教科等領域別研究会開催数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	教科等領域別研究会の開催数 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(活動)若手教員育成に係る協議会の開催	回	0.00 0.00	0.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	若手教員育成プロジェクト会議等の開催数 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(成果)教科等領域別研究会参加者数	人	0.00 0.00	0.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	教科等領域別研究会への参加者数 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(成果)若手教員育成に係る要請学校園訪問数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	若手教員育成に係る要請学校園訪問の延べ回数 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(活動)部会加入率	%	100.00 100.00	100.00 99.90	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	市立幼・小・中学校園教職員の教科等領域別研究部会加入率 ＊全教職員が加盟するため令和７年度をもって廃止する						
(活動)研究委員会開催数	回	5.00 6.00	5.00 6.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	各研究委員会の延べ開催数 ＊研究委員会の名称が変更となったため令和７年度をもって指標を廃止する						
(成果)部会参加人数	人	2,300.00 2,997.00	2,500.00 2,905.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	部会の年間延べ参加者数 ＊部会名が変更となったため令和７年度をもって指標を廃止する						
(成果)研究委員会参加人数	人	50.00 105.00	50.00 97.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	研究委員会の年間延べ参加者数 ＊研究委員会の名称が変更となり対象が増加したため令和７年度をもって指標を廃止する						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0217
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　冨永　幸彦
所属　2404　教育委員会教育センター　記入者　北村　拓也
事務事業番号　00140　教職員研修事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	003　教職員研修事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地教行法第５９条　生涯学習センター条例　第３条（３）				
事業概要	（事業概要） 中核市として、市立幼稚園・こども園、小・中学校の教職員の専門性・指導力を育成するために研修を実施する。具体的には、法定研修である初任者研修や中堅教諭等資質向上研修、市独自に実施している教職２年次研修や教職３年次研修、教職４・５年次研修、教職６年次研修等のステージ研修のほか、ミドルリーダー研修や特別支援学級新担任研修などの職務研修、教職員の心と技を磨く研修、臨時的任用教員研修などのスキルアップ研修、マネジメント研修を実施する。さらに、大津市OJT研修を推進し、大津市全体の指導力向上に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 教員は、次代に求められる学校教育を実現するため、教育の専門家としての資質の向上を図ることが求められている。 （見直しや改善等の経過） 本市の教育課題に即した研修やキャリアステージに応じた研修となるよう工夫し、実践的な内容を取り入れるなど、教育の専門家としての指導力、豊かな感性、総合的な人間力を高められるよう改善してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園・こども園、小学校、中学校教職員を対象として
目的(何のために)	教職員一人ひとりの専門性の向上や総合的な人間力を高めるために
手段(どのようなやり方で)	本市の実態や課題に即した指定研修や希望研修を体系的に実施し、
成果(どのような状態にするのか)	信頼され、子どもたちが安心して学び健やかに成長できる学校・園を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	29,522	22,348	33,416	33,490	33,490	33,490	33,490
事業費	2,382	2,348	2,936	3,010	3,010	3,010	3,010
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,382	2,348	2,936	3,010	3,010	3,010	3,010
人件費計	27,140	20,000	30,480	30,480	30,480	30,480	30,480
事務・技術（人）	2.30	1.40	2.60	2.60	2.60	2.60	2.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.30	2.00	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0217
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
事務事業番号　00140　教職員研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-04-00	教職員研修費	教育委員会教育センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)研修・講座開催数	回	0.00	0.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)今日的な人権課題に係る研修・講座開催数	回	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)研修・講座受講者の満足度	点	0.00	0.00	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)今日的な人権課題に係る研修・講座満足度	点	0.00	0.00	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	本市の現状やニーズに合った研修が実施できた			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	成果指標の目標値を超える満足度が得られた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	研修資料のデータ化やオンライン研修の拡充に努めた			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	実践力や専門性の向上に、指導力の向上に寄与した			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	受講者の満足度（成果指標）も高く、教育課題や教職員のキャリアステージに応じた研修を実施することができている。新しい時代のニーズや学習指導要領改訂の方向性、および本市の課題、学校園の実情に応じた研修形態や内容を検討、精選しつつ、現状の事業内容と事業量を今後も継続していく。また、若手教員を対象に学校園訪問をさらに充実させ、保育や授業、学級経営等についての指導助言や相談等を行い、教員の専門性や指導力の向上に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	中核市として県から研修権が移譲されていることから、本市の規模や状況に合わせた研修を実施している。初任者から教職６年次までの若手教職員、臨時的任用教員、中堅教諭等のステージ研修により授業力や指導力の向上に努めている。また、ミドルリーダー研修やマネジメント研修、主幹教諭研修等を実施し、次代を担うリーダーの育成を目的とした研修の充実を図った。さらに、各校のＯＪＴ推進リーダーを中心に、校内に限らず、近隣学校園合同の研修を行うなど、若手教員を育てる環境を意図的に設定し、人材育成のさらなる充実に努めている。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00140　教職員研修事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)研修・講座開催数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00
	指標説明	すべての研修・講座の開催数 ＊指定研修だけでなくすべての研修講座を対象とするため令和８年度より新指標を設定する						
(活動)今日的な人権課題に係る研修・講座開催数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	今日的な人権課題に係る研修・講座の開催数 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(成果)研修・講座受講者の満足度	点	0.00 0.00	0.00 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00
	指標説明	研修・講座の受講者の振り返りシートの満足度 ＊すべての研修・講座の受講者を対象とするため、令和８年度より新指標を設定する						
(成果)今日的な人権課題に係る研修・講座満足度	点	0.00 0.00	0.00 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00	4.80 0.00
	指標説明	今日的な人権課題に係る研修・講座受講者の振り返りシートの満足度 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標を設定する						
(活動)指定研修講座開催数	回	100.00 133.00	100.00 138.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	指定研修延べ講座開催数 ＊指定研修だけでなくすべての研修講座を対象とするため令和７年度をもって指標を廃止する						
(活動)夏季研修講座開催数	回	30.00 41.00	30.00 47.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	夏季における希望研修開催回数 ＊夏季講座だけでなくすべての研修講座を対象とするため令和７年度をもって指標を廃止する						
(成果)指定研修受講者満足度	点	4.80 4.83	4.80 4.84	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	指定研修受講者の評価（５点満点） ＊指定研修だけでなくすべての研修講座を対象とするため令和７年度をもって指標を廃止する						
(成果)夏季研修講座参加者数	人	2,000.00 2,436.00	2,200.00 2,140.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	夏季研修講座参加のべ人数 ＊夏季講座だけでなくすべての研修講座を対象とするため令和７年度をもって指標を廃止する						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0218
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　冨永　幸彦
所属　2404　教育委員会教育センター　記入者　小川　敦士
事務事業番号　00141　「わたしたちの大津」作成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	022　「わたしたちの大津」作成事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	生涯学習センター条例　第３条（３）				
事業概要	（事業概要） 市内小学校３・４年生が使用する小学校社会科副読本「わたしたちの大津」作成に向けての資料収集および執筆・編集・校正・印刷を行う。また、副読本に対応した評価テスト・指導書・Ｗｅｂページ等の作成を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成２９年に小学校学習指導要領の全面改訂が行われた。育成を目指す資質・能力が明確化され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が図られている。 （見直しや改善等の経過） 年度ごとの見直しにより最新の情報を提供し、副読本として使いやすいよう改訂を加えている。また、副読本に対応した評価テストや指導書、Ｗｅｂページの作成を行い、授業改善を促している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学校３・４年生の児童および小学校教員を対象として
目的(何のために)	よりよい地域社会を目指して問題解決しようとする態度、地域社会の生活についての理解や適切に思考、判断、表現する力を養うために
手段(どのようなやり方で)	社会科授業で使用する副読本「わたしたちの大津」や評価テスト・指導書の作成及び提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚などを養い、地域社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,383	10,973	12,054	12,211	12,211	12,211	12,211
事業費	2,303	1,933	2,134	2,291	2,291	2,291	2,291
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,303	1,933	2,134	2,291	2,291	2,291	2,291
人件費計	7,080	9,040	9,920	9,920	9,920	9,920	9,920
事務・技術（人）	0.60	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.60	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0218
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
事務事業番号　00141　「わたしたちの大津」作成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-13-00	「わたしたちの大津」作成事業費	教育委員会教育センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)副読本編纂に係る協議・活動の回数	回	0.00	0.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)郷土への愛着育成につながる貢献度	%	0.00	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)発行冊数	冊	3,500.00	3,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,500.00	3,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)副読本利用率	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が独自の副読本を作成し、子どもの郷土愛を育成しているため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもが副読本を活用し、郷土への関心・理解を深めているため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	小学校３・４年生の２年間、副読本を活用しているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもがよりよい地域社会の担い手となる力を身に付けているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	小学校３・４年生用の社会科副読本は、他市でも独自に編集している。大津市においても、学習指導要領の改訂に合わせて副読本の全面改訂を行い、それに対応した評価テストや指導書、朱書きページの作成も行った。また、Ｗｅｂページにおいて、授業に活用できる資料等の充実も図った。副読本を部分的に改訂し、掲載内容を最新のものへ更新した。朱書きページの作成や資料の充実により副読本を活用した授業力の向上を図ることで、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を高めた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	大津市の子どもたちが、本市の地理・歴史・文化・産業等に興味・関心を抱き、理解を深めることを通して、ふるさとへの誇りと愛情を持てるようにするため、小学校社会科副読本「わたしたちの大津」の改訂版を作成した。また、教師指導書(朱書き編)や評価テスト、Ｗｅｂページの作成・製本・印刷等により、さらなる充実を図っている。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2404　教育委員会教育センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00141　「わたしたちの大津」作成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)副読本編纂に係る協議・活動の回数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	「わたしたちの大津」編集委員会等の協議回数 ＊副読本の充実や指導力向上のための協議・会議を令和８年度より新指標として設定する						
(成果)郷土への愛着育成につながる貢献度	%	0.00 0.00	0.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	「わたしたちの大津」の活用に関するアンケート結果 ＊第４期大津市教育振興基本計画に基づき令和８年度より新指標として設定する						
(活動)発行冊数	冊	3,500.00 3,500.00	3,500.00 3,500.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	発行する副読本の総部数 ＊毎年の発行冊数は印刷価格により決まっているため令和７年度をもって指標を廃止する						
(成果)副読本利用率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	社会科授業での副読本利用割合 ＊副読本は必ず利用するため令和７年度をもって指標を廃止する						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0219
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鎌田　豊
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家　記入者　徳村　泰弘
事務事業番号　00885　少年自然の家管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	003　「環境人」の育成の推進				
事務事業	007　少年自然の家管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例				
事業概要	（事業概要） 当施設は、昭和６２年６月開設以降、令和７年度末で延べ約８８万８千人の利用者があり、葛川の豊かな自然環境の中での自然体験活動を通じて、子どもたちに自然の偉大さや神秘さを体験させ、豊かな情操を育むとともに明るくたくましい生き方を学ばせ、よりよい人間関係を育てることを目的として適正な施設運営を行っており、安心・安全で快適な施設の利用環境を提供している。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウィルス感染症の影響により、令和２年度から４年度までの３年間は日帰りでの施設利用となっていたが、令和５年度より宿泊利用が可能となり、施設利用者にとっては、より一層安全で安心して利用できる施設として適正な管理運営が求められている。 （見直しや改善等の経過） 今後も安全で安心できる適正な施設の管理運営を行い、快適な利用環境を提供する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	施設利用者を対象に対して
目的(何のために)	環境にやさしい集団宿泊自然体験施設として、適正な施設管理運営を行なうため
手段(どのようなやり方で)	設備維持管理のための保守点検、清掃等美化業務、その他管理運営のための業務を行うとともに施設、設備の維持補修等を行うことで
成果(どのような 状態にするのか)	安心、安全な施設の利用環境を提供する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	65,047	67,487	75,214	73,111	73,111	73,111	73,111
事業費	53,487	56,447	61,654	59,551	59,551	59,551	59,551
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	11,144	15,409	15,056	15,056	15,056	15,056	15,056
一般財源	42,343	41,038	46,598	44,495	44,495	44,495	44,495
人件費計	11,560	11,040	13,560	13,560	13,560	13,560	13,560
事務・技術（人）	0.50	0.50	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.90	1.60	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0219
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
事務事業番号　00885　少年自然の家管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-45-50-00-01-00	少年自然の家管理運営事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)団体への貸出稼働泊数	泊	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		70.00	69.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用団体数	団体	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		89.00	83.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者の宿泊人数（延べ人数）	人	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		13,013.00	12,845.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	適正な施設の管理運営が図られている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	安心・安全な施設の利用環境を提供している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	適切な施設の管理運営により経費の効率化が図られている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	青少年が健全に育つまちづくりに貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	引き続き適正な施設の管理運営に努め、経費の効率化及びコストの軽減化を図り、施設利用者に対してより一層安全で安心して利用できる施設環境が提供できるよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、事務の効率化・コストの軽減に努めるとともに、施設利用の推進を図り、利用者が活動しやすく、満足感を得られることができるよう、人にやさしく安全で安心な活動環境に向けて運営・管理に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00885　少年自然の家管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)団体への貸出稼働泊数	泊	100.00 70.00	100.00 69.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	目標は、団体宿泊可能日数×５０%、実績は、団体が宿泊した日数						
(成果)利用団体数	団体	70.00 89.00	70.00 83.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	実績は利用した団体数						
(成果)利用者の宿泊人数（延べ人数）	人	10,000.00 13,013.00	10,000.00 12,845.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00
	指標説明	実績は利用団体の宿泊者延べ人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0220
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鎌田　豊
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家　記入者　上田　太一
事務事業番号　01436　ふるさと体験学習事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	003　「環境人」の育成の推進				
事務事業	003　ふるさと体験学習事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例				
事業概要	（事業概要） 自然体験学習と集団宿泊体験を通して、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めるとともに、仲間づくりと集団生活の在り方を学び、心豊かでたくましい人間性の育成を目指すことと、この体験を通して、基本理念である「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を推進することを目的とする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和７年度より全国的にクマの出没が相次ぎ、人的被害も報告されている。葛川少年自然の家も山間部に位置し、クマによる被害が起こりうる可能性があった。 （見直しや改善等の経過） 本状況を受けて「クマ出没時等対策マニュアル」を作成した。クマ鈴の貸与や環境面での未然防止策、出没時の対応フローチャートなどを各学校に共有した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	中学校１年生を対象に（命の学習は、市内小学校４年生も対象）
目的（何のために）	２１世紀に生きる心豊かでたくましい人間の育成を図るため
手段（どのようなやり方で）	少年自然の家やその周辺地域を利用して、集団宿泊体験やさまざまな自然体験活動を実施し
成果（どのような状態にするのか）	安全に生活する中で、自然の美しさや厳しさを感じとり、集団生活のあり方や仲間と協力するすばらしさを学ぶようにする。また自然環境の中で五感を使い、感性を養いつつ、的確な判断力、課題解決能力・実践力を培うようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	21,803	22,566	24,912	24,912	24,912	24,912	24,912
事業費	13,163	13,526	15,872	15,872	15,872	15,872	15,872
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,163	13,526	15,872	15,872	15,872	15,872	15,872
人件費計	8,640	9,040	9,040	9,040	9,040	9,040	9,040
事務・技術（人）	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0220
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
事務事業番号　01436　ふるさと体験学習事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-16-00-01-00	ふるさと体験学習事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ふるさと体験学習参加者数	%	3,020.00 2,857.00	100.00 97.43	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)ふるさと体験学習のねらいの達成度	%	90.00 90.25	90.00 90.28	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	目的やねらいを明確に持ち実施している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	自然体験や命の学習、防災学習は教科と関連づいている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	自分の命や仲間の大切さを学び、充実した活動が展開できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	仲間との協力で集団生活の在り方を学び自己実現につなげている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度より、４クラス規模の野外炊事を実施できるように調整した。以前まで人数の関係で実施できていなかった学校では、生徒同士での助け合いや教え合い、班活動の場面があり、生徒の仲間づくりと集団生活の在り方を学ぶ機会に繋がっている。またこれらをもって、心豊かでたくましい人間性の育成を目指し、大津の基本理念である「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」の実現を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	大津市の豊かな自然の中で集団宿泊体験や野外活動を経験し、良好な人間関係の構築や主体的に行動する態度の育成を学ぶ体験は、他では得がたい体験である。今後の活動の充実に向けて、引き続き学校のアンケートをもとに生徒や学校の思いの把握に努める。また、安心安全を重視した活動内容を工夫し、学校が主体的な活動の取り組みとして展開できるよう推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01436　ふるさと体験学習事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ふるさと体験学習参加者数	%	3,020.00 2,857.00	100.00 97.43	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	令和７年度より、各年度　児童・生徒数　標準・実学級数（実数）（各年度５月１日現在）をもとに参加人数を百分率で換算						
(成果)ふるさと体験学習のねらいの達成度	%	90.00 90.25	90.00 90.28	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	各校実施後の４段階自己評価の割合を１００点満点に換算したもの						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0221
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鎌田　豊
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家　記入者　美浪　由香
事務事業番号　01437　森林環境学習「やまのこ」事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	003　「環境人」の育成の推進				
事務事業	004　森林環境学習「やまのこ」事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例				
事業概要	（事業概要） 森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに人と豊かに関わる力をはぐくむため、学校教育の一環として小学４年生を対象に葛川少年自然の家とその周辺森林を使った体験型の学習を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 学習指導要領の中の「豊かな心と生きる力を育む」ためにも、１泊２日の森林環境学習「やまのこ」事業の取組への期待は大きい。 （見直しや改善等の経過） 条例に基づき、平成１９年度から当事業が学校教育の一環として県内小学校４年生を対象に施行された。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	大津市立全小学校４年生３７校及び葛川少年自然の家での事業実施を希望する県内の小学４年生。
目的（何のために）	森林をはじめとする環境に理解を深める。 人と豊かに関わる力の育成。
手段（どのようなやり方で）	集団宿泊体験（１泊２日）。 自然の家やその周辺森林を利用した森林環境学習。
成果（どのような状態にするのか）	安全に生活する中で、森林に興味を持ち、その働きの重要性や危機回避する力を身に付け、環境を守ろうという意欲をもつようにする。また、優しさや思いやり、協力し合う心の大切さに気付けるようになる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	35,483	37,554	40,279	40,279	40,279	40,279	40,279
事業費	17,363	18,434	21,159	21,159	21,159	21,159	21,159
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	10,869	10,752	14,863	14,863	14,863	14,863	14,863
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,494	7,682	6,296	6,296	6,296	6,296	6,296
人件費計	18,120	19,120	19,120	19,120	19,120	19,120	19,120
事務・技術（人）	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0221
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
事務事業番号　01437　森林環境学習「やまのこ」事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-16-00-02-00	森林環境学習「やまのこ」事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)森林環境学習「やまのこ」事業受入者数	%	2,990.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		2,990.00	96.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業の「取り組み」についての達成度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		92.32	90.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	森林に囲まれた施設で、小学校に効果的な指導ができた。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	活動を通して、森林の有用性について学ぶことができた。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	やまのこ専任指導員が、児童に充実した指導、活動支援を行った。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	やまのこ事業を通し、環境を大切にする人材育成に貢献できた。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	滋賀県の補助事業として学校教育に位置付け、小学４年生を対象に行う森林環境学習であり、大津市が掲げている環境人の育成にも合致している。本来は集団宿泊体験を通して、ゆとりある時間の中で自然や森林に触れながら自然の大切さを学び、自ら森林環境の保全に貢献できる子どもを育成するねらいがある。令和５年度から１泊２日での集団宿泊体験を再開し、その後も森林環境学習など充実した活動を実施することができた。今年度も、安心安全に体験できるよう各プログラムの精選を行うなかで集団宿泊体験として本事業を行い、事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	葛川の豊かな自然を生かして、森林を学習材とし、健康な森林を守り育てるための取り組みについて学んだり、間伐材を利用したり、森に親しむ活動を行ったりすることが森林環境学習の推進や大津市の環境人育成につながっている。今後も、人と自然、人と人とが関わり、持続可能な社会の形成に積極的に寄与する次世代の育成に努める事業を推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01437　森林環境学習「やまのこ」事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)森林環境学習「やまのこ」事業受入者数	%	2,990.00 2,990.00	100.00 96.48	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	令和７年度より、各年度　児童・生徒数　標準・実学級数（実数）（各年度５月１日現在）をもとに参加人数を百分率で換算						
(成果)事業の「取り組み」についての達成度	%	90.00 92.32	90.00 90.42	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	「取り組み」の４段階事後評価（学校・指導員）を１００点に換算						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0222
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鎌田　豊
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家　記入者　林　晴信
事務事業番号　01438　研修事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	003　「環境人」の育成の推進				
事務事業	005　研修事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例				
事業概要	（事業概要） 子どもたちの学校外体験活動の充実を図る社会教育施設として、自然の家の役割が一層増している。そこで研修事業の自然体験学習に子どもたちの五感に働きかける活動を多く取り入れ、心豊かな人間性の育成を図ることを目標に掲げ主催研修事業を実施する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和５年度より宿泊体験学習が再開となった。野外活動は健全な心身を育み、年齢に関わらずたくましく生き抜く力を養っていくために欠かせない意義を持っている。また、家族の絆を深める機会ともなる。 （見直しや改善等の経過） 課題に自主的に取り組み、試行錯誤しながら自分の考えをしっかり持てるよう、また学ぶことが楽しいという気持ちが持てるよう、課題を設定し探究的な活動を行う研修事業内容に変更した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内の小学生、中学生、高校生、大学生及び小中学生を含む家族、大津市民を対象に
目的(何のために)	自然体験や野外活動を通して青少年の健全育成を図るとともに、地域リーダーやボランティア等の青少年の指導者の育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	葛川の豊かな自然環境を活かし、宿泊研修や日帰り研修の中で、さまざまな野外活動プログラムや自然体験活動を実施し
成果(どのような 状態にするのか)	自然の素晴らしさや偉大さを感じ、仲間と協力することの大切さや家族のふれあいを深めるとともに、探究する楽しさと問題解決能力を養う。また、地域ボランティアやリーダー等の指導者が育つ。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,195	5,668	5,756	5,756	5,756	5,756	5,756
事業費	1,655	1,948	2,036	2,036	2,036	2,036	2,036
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	596	849	1,034	1,034	1,034	1,034	1,034
一般財源	1,059	1,099	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002
人件費計	3,540	3,720	3,720	3,720	3,720	3,720	3,720
事務・技術（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0222
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
事務事業番号　01438　研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-45-50-00-08-00	自然の家研修事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)重点研修事業応募者数	人	166.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00
		125.00	138.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)市民対象事業応募者数	人	195.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00
		713.00	685.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)重点研修事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		93.84	94.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民対象事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		97.64	98.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	野外活動研修を、教育の視点で計画的に実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	自然の中での活動が家族の絆を深め、探求する楽しさを養えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	様々な野外活動プログラムを提示して、参加者を募っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	自然体験や集団宿泊研修を通して青少年の健全育成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子どもを対象とした重点研修事業では、昨年度よりも応募者数が増え、目標値を実績値が上回ることができた。しかし、宿泊を伴う事業については、応募者数が少ない傾向にある。市民対象事業では、昨年度に引き続き、受け入れ者数を大きく上回る応募があり、特に家族で参加する事業への関心度が高いことが分かった。 今後は子どもを対象とした宿泊を伴う事業への応募者を増やすために、参加者への安心・安全を確保しながら、興味・関心を持ってもらえるような葛川の自然を生かした新しい活動プログラムの開発に力を入れていきたい。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	葛川少年自然の家での自然体験活動を通して、豊かな心や健やかな体の育成や人とかかわる協働の喜びの体得など、自立した社会人として、明るくたくましく生きていく態度や危機管理能力を育成する。また、青少年の育成や家族のふれあいなど、市民の生涯学習の場として提供できるよう、事後のアンケート等を基に内容を一層充実させて事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2460　教育委員会葛川少年自然の家
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01438　研修事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)重点研修事業応募者数	人	166.00 125.00	134.00 138.00	134.00 0.00	134.00 0.00	134.00 0.00	134.00 0.00	134.00 0.00
	指標説明	各重点事業（葛川自然学校、ちっちゃい秋探検隊、北風わんぱくキャンプ）の受け入れ者数に対する応募者数を指標とする。						
(活動)市民対象事業応募者数	人	195.00 713.00	220.00 685.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00
	指標説明	各市民対象事業（わくわくホリデー、家族防災キャンプ、ファミリーキャンプなど）の受け入れ者数に対する応募者数を指標とする。						
(成果)重点研修事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00 93.84	90.00 94.38	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	事後アンケート５段階評価を１００点満点に換算したもの						
(成果)市民対象事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00 97.64	90.00 98.33	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	事後アンケート５段階評価の１００点満点に換算したもの						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0223
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　福田　寛
所属　2485　教育委員会児童生徒支援課　記入者　小西　尚之
事務事業番号　02427　いじめ対策等充実事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001　子どもの人権を守る				
事務事業	002　いじめ対策等充実事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、大津市子どものいじめの防止に関する条例				
事業概要	（事業概要） いじめの未然防止、早期発見及び早期対応を行うため、各学校にいじめ対策委員会を設置して組織的に対応している。さらに、学校だけでは対応が困難な案件については外部専門家を各校に派遣して指導助言を受けられる体制とするとともに、重大事態については、附属機関において調査審議を実施することで事案の解明と解決を図っている。また、いじめ防止啓発月間である６月、１０月を中心とした児童生徒主体のいじめ防止対策の取組推進や、弁護士等の専門家によるいじめ問題や人権に関する授業の実施等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 学校で発生するいじめ等の事案について、事案増に加えてその背景の複雑化・多様化が見られるなかで、学校対応だけでは解決が困難な事例が増えており、外部専門家による支援が不可欠となっている。 （見直しや改善等の経過） いじめは勿論のこと、問題行動や不登校等の発生要因は多岐にわたっており、それぞれのケースに合わせた適切な対応や支援が必要となっている。そのため、令和６年度より専門家（ＳＳＷ）と指導主事が、全小中学校を巡回訪問し、各学校に対して、児童生徒観察及びアセスメントに関する助言をし、生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・対応に繋げている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	すべての児童・生徒を対象として
目的（何のために）	各校におけるいじめ対策等を推進するために
手段（どのようなやり方で）	相談窓口や緊急時における支援体制を確保することにより
成果（どのような状態にするのか）	いじめの未然防止、早期発見及び早期対応を進める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	316,997	318,786	321,260	329,042	326,370	322,311	322,311
事業費	288,897	285,018	287,492	295,274	292,602	288,543	288,543
国庫支出金	274	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	288,623	285,018	287,492	295,274	292,602	288,543	288,543
人件費計	28,100	33,768	33,768	33,768	33,768	33,768	33,768
事務・技術（人）	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.32	4.22	4.22	4.22	4.22	4.22	4.22
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0223
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2485　教育委員会児童生徒支援課
事務事業番号　02427　いじめ対策等充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-17-00-09-00	いじめ対策等充実事業費	教育委員会児童生徒支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)いじめ等事案対策検討委員会開催回数	回	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いじめ対策委員会開催回数	回	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		22,846.00	22,554.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)小・中学校いじめ認知件数	件	8,000.00	8,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		8,161.00	8,227.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子ども支援コーディネーター対応件数	件	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00
		82,037.00	86,520.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	条例及び行動計画に基づき、市が主体となって取組むべきもの			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	いじめをしっかりと認知し、学校組織として対応できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校組織の対応のほか、外部専門家や保護者、地域と連携している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	様々な取組により子どもが安心して学べる環境確保に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和２年度より、「いじめ対策担当教員」から「子ども支援コーディネーター」に改め、その役割の充実を図っている。これにより、いじめにつながる可能性のある児童虐待や不登校、ヤングケアラーなど、子どもの抱える課題に対し、組織的な対応を進めている。また、令和７年度からは、子どもたちの小さなＳＯＳを早期に発見できるよう「こころの健康観察」を導入し、安心して学校生活を送ることができるよう、一人ひとりに寄り添った支援に努めている。今後はこれらの取組をさらに充実させるため、「第３期大津市いじめの防止に関する行動計画」に基づき、福祉部局等の関連機関と連携した重層的な支援や外部の専門家との連携による学校現場への支援の推進など、いじめ対策等事業を確実に実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	これまで積み上げてきたいじめ対策を基本に、これからも歩みを止めることなく着実に、いじめに関する取組を推し進めるべく、「第３期大津市いじめの防止に関する行動計画」を策定しており、今後も、子ども一人ひとりに焦点を当てながら、きめ細やかに寄り添い、最適な方策や手立てを講じていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2485　教育委員会児童生徒支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02427　いじめ対策等充実事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)いじめ等事案対策検討委員会開催回数	回	10.00 10.00	10.00 20.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	回数の多寡によって事業の活動成果を判断することは、現状においては、適切な判断基準であるとは考えられなくなっている。そのため令和８年度以降は、この指標を使用しないこととする。						
(活動)いじめ対策委員会開催回数	回	20,000.00 22,846.00	20,000.00 22,554.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00
	指標説明	各小・中学校におけるいじめ対策委員会の開催回数						
(成果)小・中学校いじめ認知件数	件	8,000.00 8,161.00	8,000.00 8,227.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	件数の多寡によって事業の活動成果を判断することは、現状においては、適切な判断基準であるとは考えられなくなっている。そのため令和８年度以降は、この指標を使用しないこととする。						
(成果)子ども支援コーディネーター対応件数	件	80,000.00 82,037.00	80,000.00 86,520.00	80,000.00 0.00	80,000.00 0.00	80,000.00 0.00	80,000.00 0.00	80,000.00 0.00
	指標説明	子ども支援コーディネーター対応件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0224
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中川　恵実子
所属　2476　教育委員会教育支援センター　記入者　金田　美恵
事務事業番号　00074　教育相談事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001　子どもの人権を守る				
事務事業	006　教育相談事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	教育支援センター条例　教育支援センターの管理運営に関する規則				
事業概要	（事業概要） 不登校や特別な支援を要する子どもの教育についての課題及び子育てに悩む保護者や教職員、並びに情緒不安や集団になじめない等の悩みを持つ子どもに対して教育相談を実施し、課題解決への支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)社会や教育環境の変化に伴い、子どもを巡る課題も年々多様化、深刻化している。相談内容も不登校、子育て、発達に関する課題等、多岐にわたるとともに深刻なケースが増えている。 (見直しや改善等の経過)学校や医療・福祉関係機関との連携を強化するとともに、専門家（公認心理師）の活用により、教育相談体制の強化を図る。令和５年度より、精神科専門医による相談事業を開始し、医療面の課題を抱えた長期欠席の児童生徒並びにその家族等への適切な支援方策にかかる相談体制を整えた。また、令和７年度より、登校できているが医療面の課題を抱えた児童生徒も対象とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者・教職員・子どもを対象に
目的(何のために)	教育についての課題や子育てに関する悩みの相談を受け、課題解決への支援を行うため
手段(どのようなやり方で)	電話による教育相談や来所による面接相談を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	子どもの社会的自立を支援する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	22,684	25,809	26,498	26,454	26,454	26,454	26,454
事業費	464	453	742	698	698	698	698
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	464	453	742	698	698	698	698
人件費計	22,220	25,356	25,756	25,756	25,756	25,756	25,756
事務・技術（人）	0.70	0.70	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	4.19	4.49	4.49	4.49	4.49	4.49	4.49
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0224
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
事務事業番号　00074　教育相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-13-00-01-00	教育相談事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)電話による相談件数	件	800.00 1,302.00	800.00 1,183.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
(活動)来所面接による延べ相談人数	人	1,800.00 2,003.00	1,800.00 2,181.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
(成果)学校連携数（ケース会議への出席や電話連絡連携）	件	800.00 1,064.00	800.00 1,024.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	子育て等に悩む市民の相談を実施することは本市の責務である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	内容に応じて継続相談することで、課題解決につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	相談者が相談しやすい方法を選択できるようになっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	教育相談の充実により、子どもと保護者支援につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	集団に馴染めない子どもや発達に課題のある子どもに関する相談件数は増えており、専門的見地による相談ができる公認心理師と経験豊富な相談員による教育相談体制を整えている教育支援センターの役割は大きい。また、精神科専門医や教育支援センターのスーパーバイザーが学校や児童生徒支援課とのケース会議に参加することで、複雑で困難なケースへの対応も行っている。今後も不安を抱える市民に対し丁寧な相談を心がけるとともに、学校連携を密にしながら、子どもと保護者支援につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	児童生徒および保護者の状況は、家庭環境の課題や発達課題等、多様化・複雑化し、教育相談へのニーズが高まっていることから、教育相談に関する教職員研修を実施するとともに、公認心理師と教育支援員を学校へ派遣し専門的見地から助言するなど、教育相談体制の充実を図る。また、精神科専門医の活用により、医療面の課題を抱えた児童生徒、保護者への適切な支援が行えるよう学校への助言を充実させる。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00074　教育相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)電話による相談件数	件	800.00 1,302.00	800.00 1,183.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
	指標説明	１年間の電話による相談件数						
(活動)来所面接による延べ相談人数	人	1,800.00 2,003.00	1,800.00 2,181.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
	指標説明	小学校ウイングにて来所面接を行った相談人数を合わせたのべ数						
(成果)学校連携数（ケース会議への出席や電話連絡連携）	件	800.00 1,064.00	800.00 1,024.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
	指標説明	学校連携数（ケース会議への出席や電話連絡連携）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号	0225				
評価年度	令和 7年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中川　恵実子
所属	2476	教育委員会教育支援センター		記入者	髙橋　佑貴
事務事業番号	00076	教育支援事業			

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001　子どもの人権を守る				
事務事業	007　教育支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	教育支援センター条例　教育支援センターの管理運営に関する規則				
事業概要	（事業概要） 大津市内に在住し、不登校（傾向）の状況にある子どもに対して、教育支援ルーム「ウイング」を開設するとともに、その長期化・固定化を防ぐため、当該の学校や家庭を訪問して要因や背景等の見立てを行い、個に応じた支援方策を検討・実施することで、学校復帰や社会的自立につながる支援を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 不登校(傾向)にある子どもは、社会環境の変化や家庭環境等、様々な要因や背景により、学校に登校できない状況が長期化・固定化する傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度から通級対象を拡大し、特別支援学級に在籍する子どもの通級を可能とする。「不登校対策事業」と「適応指導教室事業」を統合し「教育支援事業」として包括的に事業を実施し、令和５年度に中学校ウイング和邇を開設及びアウトリーチ型支援の対象を中学生にも拡大。令和６年度から中学校ウイング瀬田を開設するとともに、全市立小中学校に校内ウイングを設置。令和７年度より小学生を対象としたアウトリーチ型支援を拡充。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に在住する子どもで不登校（傾向）の状態が継続し、学校以外で通うことができる場を望んでいる者を対象に
目的(何のために)	不登校（傾向）にある子どもに対して、その長期化・固定化を防ぎ、心身の健康を取り戻すとともに、学校復帰や社会的自立につなぐため
手段(どのようなやり方で)	教育支援ルームにおける学習支援や体験活動による支援及び巡回相談において、支援方策を検討、実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	心身の健康を取り戻し、学校復帰や社会的自立を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,444	76,020	79,060	78,370	78,370	78,370	78,370
事業費	4,448	9,800	13,300	12,610	12,610	12,610	12,610
国庫支出金	325	0	0	0	0	0	0
県支出金	176	2,857	3,600	4,425	4,425	4,425	4,425
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	45	134	170	56	56	56	56
一般財源	3,902	6,809	9,530	8,129	8,129	8,129	8,129
人件費計	53,996	66,220	65,760	65,760	65,760	65,760	65,760
事務・技術（人）	1.22	1.32	1.29	1.29	1.29	1.29	1.29
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	11.12	12.65	12.60	12.60	12.60	12.60	12.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0225
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
事務事業番号　00076　教育支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-13-00-03-00	教育支援事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)アウトリーチ型支援の訪問件数	件	220.00 364.00	220.00 404.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00
(成果)教育支援ルーム通級児童生徒の不登校状況の改善率	%	90.00 83.95	90.00 91.02	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	不登校が長期化するまでにアウトリーチ型支援により助言を行える			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	教育支援ルームに通級できた児童生徒については改善がみられる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	アウトリーチ型支援から教育支援ルームの支援につなげられる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立につなげられている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	小学校における不登校は長期化するケースが多いことから、令和７年度より在籍校や家庭を訪問して行うアウトリーチ型支援の対象を拡大し、小学校を担当するアウトリーチ型支援チームを増設し対応にあたっている。また令和６年度に引き続き、「校内ウイング」研究実践モデル校４校において事業の効果について検証を行い、モデル校で効果のあった「安心できる居場所づくり」や「個に応じた支援」などの事例を各校の校内ウイング運営に繋げられるよう、公開研修会も継続して開催している。また、令和７年度よりフリースクール等の民間施設と学校、教育支援センターの３者が顔を合わせ、情報交換を行う「スクラム会議」を開催するなど、関係機関と連携強化を図っている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	不登校の背景は一人ひとり異なり多様であることから、校内ウイング、市のウイング、アウトリーチ型支援およびフリースクール等民間施設等との連携等により、児童生徒が安心して過ごせる居場所とともに信頼できる人との関わりを大切にし、子どもや保護者への支援のさらなる充実を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00076　教育支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)アウトリーチ型支援の訪問件数	件	220.00 364.00	220.00 404.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00
	指標説明	小中学校のアウトリーチ型支援の訪問件数 ※令和７年度より訪問に関わる教育支援員、心理師が増員されたため、目標値を見直した。						
(成果)教育支援ルーム通級児童生徒の不登校状況の改善率	%	90.00 83.95	90.00 91.02	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	教育支援ルーム「小中学校ウイング」通級児童生徒において不登校の状況に改善が見られた人数割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0226
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中川　恵実子
所属　2476　教育委員会教育支援センター　記入者　山本　香子
事務事業番号　00119　特別支援教育充実事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002　ライフステージに対応した一貫した発達支援				
事務事業	010　特別支援教育充実事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校教育法　教育基本法　学校教育施行規則　学校教育施行令				
事業概要	（事業概要） 特別な支援を要する児童生徒の健やかな成長に資するため、学校訪問や講師招聘による研修支援を行うとともに、個に応じた支援体制を整える。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 『障害者差別解消法』施行以降、年々インクルーシブ教育体制の充実が求められている。さらに平成３１年３月「学校における医療的ケアの今後の対応について」（文部科学省通知）を受けた対応が必要になってきている。 （見直しや改善等の経過） 平成２８年度に、医療的ケア支援員を配置した。平成２８年度より、小中学校における特別支援教育の推進のため、特別支援教育アドバイザーによる学校訪問を開始した。また、令和４年度から発達相談員と教育支援員による巡回相談を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住の小学校、中学校の在籍児童生徒を対象として
目的(何のために)	特別な支援を要する児童生徒の健やかな成長に資するため
手段(どのようなやり方で)	学校訪問の実施や講師の招聘を通じて
成果(どのような状態にするのか)	各学校園が校種間で円滑な連携を行い、個に応じた支援体制を整える。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	7,622	8,638	17,554	18,085	18,085	18,085	18,085
事業費	1,284	1,038	1,954	2,485	2,485	2,485	2,485
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,284	1,038	1,954	2,485	2,485	2,485	2,485
人件費計	6,338	7,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
事務・技術（人）	0.71	0.73	1.73	1.73	1.73	1.73	1.73
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0226
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
事務事業番号　00119　特別支援教育充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-21-00-01-00	特別支援教育充実事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校からの要請に応じた訪問の回数	回	130.00 198.00	130.00 225.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00
(成果)特別支援教育体制が整備されている学校数	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	小・中学校設置者である市が事業実施することは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	医療的ケア児在籍小中学校に医療的ケア支援員を配置している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学校訪問や講師の派遣により、きめ細やかな支援が行われている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	指導・助言は本市の特別支援教育の充実に大きく貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	特別な教育的支援を要する児童生徒数は年々増加しており、各校の特別支援教育体制整備の充実に向け、医療的ケア支援員（看護師）を配置するとともに通級指導教室担当者等の指導支援を継続する。特別な支援を要する児童生徒への指導方法に関する相談が増えてきており、発達相談員を増員し、学校への訪問指導、支援を充実させている。また、令和８年度より就学移行支援をこども発達相談センターと連携して行うための計画に取り組んできている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	特別な教育的支援を要する児童生徒数が増加していることから、特別支援教育の体制の充実を図る。また、発達相談員による訪問指導、医療的ケア支援員（看護師）、通級指導教室担当者による指導支援、福祉部局との連携等により、個々のニーズに応じた支援のさらなる充実を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00119　特別支援教育充実事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校からの要請に応じた訪問の回数	回	130.00 198.00	130.00 225.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00	130.00 0.00
	指標説明	特別支援教育充実訪問及び指導主事訪問実施数						
(成果)特別支援教育体制が整備されている学校数	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	医療的ケアの必要な児童生徒に対する医療的ケア支援員（看護師）の配置率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号	0227				
評価年度	令和 7年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中川　恵実子
所属	2476	教育委員会教育支援センター		記入者	寺町　美紀
事務事業番号	02222	特別支援教育相談事業			

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002　ライフステージに対応した一貫した発達支援				
事務事業	003　特別支援教育相談事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市特別支援教育対象児等教育支援委員会規則				
事業概要	（事業概要） 〇就学相談：子どもの状況把握と保護者の願いの聴取、専門家の意見聴取を行う。 〇特別支援教育巡回相談：学校における特別支援教育に係る助言や児童生徒観察、保護者相談を実施する。 〇大津市ことばの教室：ことばやコミュニケーションに課題がある子どもへの指導と保護者相談を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成２８年の障害者差別解消法の施行により、インクルーシブ教育体制づくりが求められるとともに、特別な支援を要する児童生徒への支援ニーズが年々高まってきている。 （見直しや改善等の経過） 就学相談件数の漸増により、効率的な就学相談の実施を目指して就学相談ガイドブックを発刊するとともに、毎年改訂を行うことで就学相談業務の適正化を図っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市内在住の幼児・児童・生徒を対象として
目的（何のために）	特別な教育的支援を要する幼児、児童生徒の健やかな成長に資するため
手段（どのようなやり方で）	巡回訪問の実施やことばの教室の運営、就学相談会を開催することで
成果（どのような状態にするのか）	各学校園との円滑な連携、指導、相談を行い、個に応じた就学指導や特別な教育的支援の充実を図る。また、ことばの教室においては、保護者への相談活動や幼児児童生徒への言語指導の促進を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	54,488	60,977	64,426	63,825	63,825	63,825	63,825
事業費	2,904	2,477	3,098	2,497	2,497	2,497	2,497
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,904	2,477	3,098	2,497	2,497	2,497	2,497
人件費計	51,584	58,500	61,328	61,328	61,328	61,328	61,328
事務・技術（人）	1.08	1.18	1.11	1.11	1.11	1.11	1.11
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	10.79	11.15	11.92	11.92	11.92	11.92	11.92
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0227
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
事務事業番号　02222　特別支援教育相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-21-00-02-00	特別支援教育相談事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)特別支援教育相談実施件数	件	2,500.00 3,178.00	2,500.00 3,403.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
(成果)就学相談実施件数	件	550.00 510.00	550.00 581.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	特別な支援のいる子どもたちにとって必要な手段のため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	相談件数が上がっているため。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業の実施に労するや費用に見合う効果を上げているため。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	時代の変化や多様化する子どもたちへの貢献度が高いため。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	特別な支援を必要とする児童生徒に対して、３カ所のことばの教室での相談・支援を行っている。また、専門的な視点から相談・支援を行う発達相談員が学校からの要請を受けて巡回相談を充実させている。また、適正な就学先決定のための就学相談について、令和４年度より５００件を上回っており、その内容も複雑・多岐にわたることから、公認心理師および巡回相談の活用をより一層充実させていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	特別な教育的支援を要する児童生徒への相談と支援の充実のため、就学相談により個々の状況に応じた支援を進めるとともに、巡回相談や、ことばの教室により専門的な相談、助言および検査等、指導および支援の充実を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2476　教育委員会教育支援センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02222　特別支援教育相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)特別支援教育相談実施件数	件	2,500.00 3,178.00	2,500.00 3,403.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	特別支援教育巡回相談員相談件数およびことばの教室相談件数						
(成果)就学相談実施件数	件	550.00 510.00	550.00 581.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00	550.00 0.00
	指標説明	就学相談実施件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0228
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　浜本　悟史
所属　2412　教育委員会学校給食課　記入者　山崎　晃
事務事業番号　02592　学校給食総務事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	002　食育の推進				
事務事業	027　学校給食総務事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校給食法				
事業概要	（事業概要） 学校給食の提供を通じて、児童生徒の健康の増進と体力の向上、保護者負担の軽減を図るとともに、特に、食に関する正しい知識の習得など、食育の推進に取り組んでいる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、学校給食の食材費は値上がりが続く中、栄養バランスのとれた安全、安心な食材の調達、食物アレルギーへの対応、食育の推進など、学校給食が果たす役割は大きい。 （見直しや改善等の経過） 令和２年１月の中学校給食の開始により、市立全小中学校で学校給食を実施している。また、令和４年度から栄養教諭に加え、食育指導専門員の食育指導により、食育の推進を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童及び生徒を対象として
目的(何のために)	主体的に健康な食生活を実現できる力を身に付けることを目指し、
手段(どのようなやり方で)	健やかな心身を育むための食に関する指導や、地場産物を活用した食育の充実、食に関する正しい知識の習得を目的とした食の教育など、食育を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	望ましい食習慣を身につけるとともに、食文化の継承や地域の産物を理解し、命の大切さや食への感謝の気持ちが育まれる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	1,516,973	1,624,784	1,704,394	1,828,292	1,828,292	1,828,292	1,828,292
事業費	1,462,141	1,568,076	1,646,074	1,769,972	1,769,972	1,769,972	1,769,972
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	979,035	982,238	982,238	982,238	982,238
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,292,155	1,321,242	477,164	488,171	488,171	488,171	488,171
一般財源	169,986	246,834	189,875	299,563	299,563	299,563	299,563
人件費計	54,832	56,708	58,320	58,320	58,320	58,320	58,320
事務・技術（人）	3.44	3.42	3.44	3.44	3.44	3.44	3.44
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	7.00	6.67	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0228
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2412　教育委員会学校給食課
事務事業番号　02592　学校給食総務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
33-05-05-05-10-00-01-00	学校給食総務費	教育委員会学校給食課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)「食育の日」取組事業数（食育に効果的な取組等）	件	220.00 178.00	220.00 204.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00
(活動)地場産物の利用率	%	25.00 15.90	25.00 23.50	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00
(成果)残食量（１食当たり）（水切り前）	g	45.00 65.44	45.00 61.92	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	給食の時間や関連する教科等を通じて食育を推進している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	栄養教諭等の専門的・継続的な指導により成果を上げている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	一括した食材購入や給食費の公会計など効率性を高めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	食への正しい知識の習得や望ましい食習慣の形成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	食材費の値上がりが続く中、学校給食費を値上げすることなく保護者負担の軽減を図り、質と量を確保した学校給食の提供に努めている。そのような中、食育の推進は重要な取組であり、「食育の日」の取組事業数は、中学校給食の定着に伴う学校の主体的な取組数が前年度より増加し、地場産物の利用率は、各調理場でタマネギや青ネギが安定して使用できたことで前年度実績を上回り、引き続き、関係部署や生産者団体等と連携した取組を進めていく。また、残食対策は、児童生徒に栄養を適切に摂取してもらうためにも重要な取組であり、月一回の「残さず食べようデー」の実施や献立の見直しなどの取組により、徐々に効果を上げている。引き続き、栄養教諭や食育指導専門員の食育指導等の充実を図り、食育を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に必要なだけでなく、健全な食生活を日々実践し、おいしく食べることにより、生きる喜びや楽しみを与え、健康で心豊かな暮らしの実現に寄与するなど、様々な役割を担っている。今後も地場産物をはじめ安全、安心な学校給食の提供を通じて、学校給食を生きた教材として活用し、食育の推進を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2412　教育委員会学校給食課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02592　学校給食総務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)「食育の日」取組事業数（食育に効果的な取組等）	件	220.00 178.00	220.00 204.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00	220.00 0.00
	指標説明	各小中学校で取り組んでいる「食育の日」の取組事業数(県報告)						
(活動)地場産物の利用率	%	25.00 15.90	25.00 23.50	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00	25.00 0.00
	指標説明	県内産、市内産食材数÷総食材数×１００						
(成果)残食量（１食当たり）（水切り前）	g	45.00 65.44	45.00 61.92	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00
	指標説明	残食量÷提供食数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0229
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南井　亮子
所属　2403　教育委員会生涯学習課　記入者　池田　篤夫
事務事業番号　00804　生涯学習推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009　生涯学習の推進				
取組の方向性	001　学びの環境づくり				
事務事業	001　生涯学習推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	教育基本法				
事業概要	（事業概要） 大津市生涯学習推進本部を設置し、生涯学習に関する施策を総合的かつ機能的に推進するとともに、大津市生涯学習推進会議においては、市内の関係団体等の連携、協力による生涯学習の推進を図る。また、住民等からの依頼により、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、行政の施策に関する理解を深め、意識啓発と学習機会の充実により、生涯学習の推進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 本格的な人口減少に加え、人と人の「つながり」の希薄化が進む中、自主自立のまちづくりが必要であり、その課題に係る学習機会の提供と学習成果を地域づくりに生かすことが求められている。 （見直しや改善等の経過） 出前講座においては、市民の学習ニーズの多様化に応じられるよう、毎年メニューの見直しを行い、内容の充実を図っている。また、学びのネットワークを広げることを目的に、生涯学習フェスティバルを開催し、団体間の連携を深めるとともに、市民への生涯学習の普及啓発を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	一般市民及び生涯学習を推進する関係団体等を対象に
目的（何のために）	生涯学習に関する施策を総合的かつ機能的に推進するとともに、市内の関係団体等の連携、協力を促進し、本市における生涯学習の振興を図るため
手段（どのようなやり方で）	生涯学習フェスティバルの開催、熱心まちづくり出前講座などの各種事業による学ぶ機会の提供及び関係団体のネットワークを構築し
成果（どのような状態にするのか）	市民一人ひとりが、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を地域のために生かすことのできる社会を実現する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	13,221	14,607	13,688	13,712	13,712	13,712	13,712
事業費	1,681	1,247	1,248	1,272	1,272	1,272	1,272
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	87	59	61	61	61	61	61
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	96	0	0	0	0	0
一般財源	1,594	1,092	1,187	1,211	1,211	1,211	1,211
人件費計	11,540	13,360	12,440	12,440	12,440	12,440	12,440
事務・技術（人）	1.30	1.45	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.35	0.40	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0229
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
事務事業番号　00804　生涯学習推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-26-00-04-00	生涯学習推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)熱心まちづくり出前講座メニュー数	個	146.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00
		151.00	142.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)熱心まちづくり出前講座参加者数	人	3,000.00	3,050.00	3,100.00	3,300.00	3,500.00	3,700.00	3,700.00
		2,961.00	1,688.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)熱心まちづくり出前講座利用者の満足度	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		63.00	77.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	生涯学習の推進を図ることが行政に求められている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	参加人数は減ったが、出前講座の満足度が向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	出前講座等により市民の学習機会が確保できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	多様な学習機会を提供しライフステージに応じて学ぶことができる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	出前講座については、メニュー数や参加者数が大幅に減少したことから、今後は、新しい講座や既存の講座内容の見直し等の充実を図るとともに、市民への周知方法も改善していく。一方、利用者の満足度は高いため、引き続き、時代のニーズに合わせた講座内容により利用者の満足度を向上させ、市民により良い学びの機会の確保を目指していく。 また、生涯学習推進会議の各種団体との連携を図りながら、生涯学習フェスティバルを開催することで、学びのネットワークを広げ、人と人とのつながりを強化し、生涯学習の推進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民の学習ニーズを把握し、幅広い世代への学習機会の提供、さらには時間や場所にとらわれない多様な学習機会を提供し、学びと活動の循環を促進していく。また、「人生１００年時代」を見据え、今後も社会の変化に対応しながら「学び」を通じた人と人のつながり、地域づくりに生かすことのできる学習機会を提供していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00804　生涯学習推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)熱心まちづくり出前講座メニュー数	個	146.00 151.00	153.00 142.00	153.00 0.00	153.00 0.00	153.00 0.00	153.00 0.00	153.00 0.00
	指標説明	熱心まちづくり出前講座のメニュー数						
(成果)熱心まちづくり出前講座参加者数	人	3,000.00 2,961.00	3,050.00 1,688.00	3,100.00 0.00	3,300.00 0.00	3,500.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00
	指標説明	熱心まちづくり出前講座の参加者数						
(成果)熱心まちづくり出前講座利用者の満足度	%	80.00 63.00	80.00 77.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	熱心まちづくり出前講座利用者の満足度						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0230
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南井　亮子
所属　2403　教育委員会生涯学習課　記入者　髙橋　志歩
事務事業番号　00811　２０歳（はたち）のつどい開催事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	017　２０歳（はたち）のつどい開催事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 次代を担う２０歳（はたち）の青年の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため、２０歳（はたち）のつどいを挙行する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 例年、式典前後における会場周辺の混雑が課題となっており、会場職員や警備担当者と協議しながら、交通誘導や会場整理等を効果的・効率的に行い、より安全で円滑に式典を運営する手法を検討している。 （これまでの見直し） 令和６年度から大津市民会館での２部制（中学校区単位で１部を中央部、２部を北部/南部）による開催へ変更した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	平成１７年４月２日～平成１８年４月１日生まれの者を対象に
目的(何のために)	次代を担う２０歳（はたち）の青年の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため
手段(どのようなやり方で)	２０歳（はたち）の者の意見を取り入れた式典を挙行し
成果(どのような状態にするのか)	参加者に２０歳（はたち）になったことの自覚を促すとともに、社会の一員としての責務を再認識させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	14,526	13,657	14,771	15,295	15,295	15,295	15,295
事業費	5,036	5,257	6,331	6,855	6,855	6,855	6,855
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,036	5,257	6,331	6,855	6,855	6,855	6,855
人件費計	9,490	8,400	8,440	8,440	8,440	8,440	8,440
事務・技術（人）	1.15	1.05	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.13	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0230
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
事務事業番号　00811　２０歳（はたち）のつどい開催事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-60-00-11-00	２０歳（はたち）のつどい開催事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)参加者	人	2,388.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2,601.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)参加率	%	71.00	72.00	73.00	74.00	74.00	74.00	74.00
		77.80	67.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)満足度	%	0.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		0.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	記念式典として開催することから、市全体の実施が妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	満足度が目標値を大きく上回った			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	安全、円滑でかつ参加者の意見を取り入れた式典を開催している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	人生の節目となる記念式典の開催は、青少年の健全育成に資する			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度大津市２０歳（はたち）のつどいについては、企画委員の意見を取り入れた式典を挙行でき、来場した多くの方から好評を得た。また、第１部と第２部の参加者入替時においても、会場内および周辺道路に大規模な滞留を発生させることなく、本事業を安全かつ円滑に実施できた。 今後も、次代を担う２０歳（はたち）の青年の門出を祝福し意識の高揚を図るため、会場の近隣住民や交通渋滞の防止に配慮しながら、参加者にとって安全でより思い出深い事業となるよう企画の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和7年度も実行委員会形式による事業を実施することにより、同年代の若者の声を取り入れた式典となり、参加者多数の中、円滑に挙行することができた。今後も本式典を通して、大人になったことへの自覚を促すとともに自ら生き抜こうとする意欲の高揚を図る契機となるよう、事業の充実を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00811　２０歳（はたち）のつどい開催事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)参加者	人	2,388.00 2,601.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	当日参加人数　※今後若者層の人口が減少する中で、参加者数の増加を指標とすることは不適当と判断し、令和７年度より活動指標を参加率に変更。						
(活動)参加率	%	71.00 77.80	72.00 67.10	73.00 0.00	74.00 0.00	74.00 0.00	74.00 0.00	74.00 0.00
	指標説明	対象者／参加者×１００　※成果指標だった参加率を活動指標に変更。						
(成果)満足度	%	0.00 0.00	80.00 90.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	参加して「よかった」「とてもよかった」とアンケートで回答した参加者の割合。※令和７年度より成果指標として新たに設定。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0231
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南井　亮子
所属　2403　教育委員会生涯学習課　記入者　池田　篤夫
事務事業番号　00816　公民館講座等開設事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	009	生涯学習の推進			
取組の方向性	001	学びの環境づくり			
事務事業	010	公民館講座等開設事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	教育基本法、社会教育法、公民館の設置及び管理に関する条例、同規則				
事業概要	（事業概要） 公民館において、住民の学習ニーズに応えるとともに、団塊世代の地域参加や子どもの体験活動など、様々な講座を通じて地域社会の諸問題を認識し、主体的に行動する人材育成をめざす。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化の進行などから地方創生や持続可能なまちづくり等が求められている。また、価値観の多様化などから人間関係が希薄化しており、さまざまな主体が協働し地域課題の解決に取り組むことが必要である。 （見直しや改善等の経過） 人権学習を生涯学習と位置付けていることを再認識し、「人権学習推進事業」を明確化して公民館講座事業を充実した。今後も、社会環境の変化に対応した講座開設に努める。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	すべての地域住民を対象に
目的(何のために)	少子高齢化や核家族化等、地域社会のさまざまな課題を認識し、学びの成果を地域に還元できる人材を育成するため
手段(どのようなやり方で)	住民の学習ニーズに応えつつ、地域社会が抱えている課題に対応した講座を開催し
成果(どのような状態にするのか)	地域のために行動できる人材の育成を図り、社会教育の充実したまちづくりへの貢献を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	74,376	78,153	83,162	83,059	83,059	83,059	83,059
事業費	1,706	1,825	2,234	2,131	2,131	2,131	2,131
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1,774	0	0	0	0	0
一般財源	1,706	51	2,234	2,131	2,131	2,131	2,131
人件費計	72,670	76,328	80,928	80,928	80,928	80,928	80,928
事務・技術（人）	2.25	2.27	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	13.78	13.22	13.12	13.12	13.12	13.12	13.12
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0231
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
事務事業番号　00816　公民館講座等開設事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-16-00-01-00	公民館講座等開設費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公民館講座の開催数	回	675.00 615.00	645.00 581.00	645.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00
(成果)公民館講座の参加者数	人	26,500.00 15,868.00	22,500.00 15,474.00	22,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域拠点となる公民館が人材育成に努めることが妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	１館あたりの講座開催に伴う参加者数は増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	生涯学習専門員を中心に地域と連携した講座開催が出来ている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域団体と連携しながら人材の育成に努めている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	令和２年度から始まったコミュニティセンターへの移行により、令和７年度は１館が移行した。成果目標の参加数には達していないが、１館あたりの講座開催数及び参加者数は令和６年度と比較してともに増加している。引き続き、社会状況の変化や地域住民のニーズを把握しながら、それぞれの地域の実情に応じた自主的な学びが提供できるよう公民館活動を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	公民館講座は、多様な学習機会を契機として人がつどい、連携し、地域のために主体的に行動できる人材の育成につながることから、引き続き各地域の課題やニーズを踏まえながら幅広い講座の開設に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00816　公民館講座等開設事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公民館講座の開催数	回	675.00 615.00	645.00 581.00	645.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00	615.00 0.00
	指標説明	公民館講座の開催回数（目標：実績値を元にコミュニティセンターへの移行による減を勘案して算定）						
(成果)公民館講座の参加者数	人	26,500.00 15,868.00	22,500.00 15,474.00	22,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00	18,500.00 0.00
	指標説明	公民館講座の参加者数（目標：実績値を元にコミュニティセンターへの移行による減を勘案して算定）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0232
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南井　亮子
所属　2403　教育委員会生涯学習課　記入者　大橋　陸
事務事業番号　00834　家庭・地域教育推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003　子どもの教育の充実				
取組の方向性	002　特色ある学校づくりの推進				
事務事業	002　家庭・地域教育推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	教育基本法				
事業概要	（事業概要） 家庭や家族を取り巻く社会環境が変化し、家庭のあり方や教育機能が変容する中、心豊かでたくましい子どもを育てるため、親子ふれあいのための社寺等無料開放事業を実施するとともに、「おおつ家庭教育５か条」に基づき、「我が家の１か条」作品募集を実施した。子ども読書活動については、令和５年度より乳幼児健診や商業施設等でのボランティアによる読み聞かせを開始し、家庭教育の推進を図っている。 また、コミュニティ・スクールが設置された地域に地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域学校協働本部設置に向けた取り組みを推進している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年の急激な社会経済情勢の変化により、地域社会の人間関係の希薄化、核家族化が進み、家庭や地域の教育力が低下している。 （見直しや改善等の経過） ・子ども読書活動事業として、令和５年度より乳幼児健診や商業施設等でのボランティアによる読み聞かせ事業を実施している。また、地域学校協働活動推進のため、地域学校協働本部の新規設置に向けた働きかけを続けており、令和７年度までに、藤尾小学校、真野小学校、葛川小・中学校、上田上小学校、田上小学校、和邇小学校、瀬田南小学校、伊香立小・中学校の８つの地域学校協働本部が設置された。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者や子ども、地域住民を対象に
目的(何のために)	地域における様々な家庭教育支援の取り組みを充実させることにより、家庭及び地域の教育力の向上を目指すため
手段(どのようなやり方で)	親の学びや親同士の交流、親子若しくは世代間のふれあいを促進する事業の実施や、地域学校協働活動推進員を委嘱し
成果(どのような状態にするのか)	保護者や子どもたちに、様々な学びやふれあいの場の拡大と充実を図り、家庭教育の意識の高揚を図るとともに、学校と地域が連携して地域社会全体で子どもの成長を支える意識が根付く。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	14,274	14,196	13,400	13,534	13,534	13,534	13,534
事業費	3,054	3,056	3,056	3,190	3,190	3,190	3,190
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,054	3,056	3,056	3,190	3,190	3,190	3,190
人件費計	11,220	11,140	10,344	10,344	10,344	10,344	10,344
事務・技術（人）	1.30	1.20	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.27	0.35	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0232
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
事務事業番号　00834　家庭・地域教育推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-20-00-04-00	家庭・地域教育推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域学校協働活動推進員委嘱数	人	51.00 49.00	51.00 51.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00
(成果)地域学校協働本部数	件	5.00 7.00	10.00 8.00	15.00 0.00	20.00 0.00	25.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域、学校、行政が連携し、一体的に推進している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	成果目標には達していないが、本部設置に向けて協議が進んでいる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域人材の活用や関係課との連携によって効率的に進めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	家庭・地域が一体で子どもを育てる体制の構築に役立っている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	地域学校協働活動については、令和７年度に１つの本部設置を行うことができた。引き続き、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による「学校を核とした地域づくり」を目指し、各地域の状況を踏まえながら設置数の拡大を図るとともに、学校・地域・家庭の連携を深めるための本部設置に向けた支援を進める。 家族のふれあいを深める文化財等家族参観事業については、継続して実施する。また、子ども読書活動については、読書ボランティアによる読み聞かせ事業をはじめ、関係機関とも連携しながら、事業を発展させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	家庭・地域・学校が連携・協働して社会全体で子どもの成長を支えていくため、地域学校協働活動とコミュニティスクールを一体的に推進するとともに、学校や地域の実情を踏まえながら、主体的な協働活動を推進していく。また、「おおつ家庭教育５か条」や子ども読書活動など、様々な機関と連携しながら、家庭教育の推進を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2403　教育委員会生涯学習課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00834　家庭・地域教育推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域学校協働活動推進員委嘱数	人	51.00 49.00	51.00 51.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00
	指標説明	推進員委嘱数						
(成果)地域学校協働本部数	件	5.00 7.00	10.00 8.00	15.00 0.00	20.00 0.00	25.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	地域学校協働本部数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0233
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　美幸
所属　2462　教育委員会生涯学習センター　記入者　川瀬　睦
事務事業番号　00807　生涯学習センター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009　生涯学習の推進				
取組の方向性	002　学びを広げ深める支援				
事務事業	014　生涯学習センター管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市生涯学習センター条例・規則				
事業概要	（事業概要） 市民の文化及び教養の高揚に資するため設置している生涯学習センターは、市民の生涯にわたる学習活動拠点として、市民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、さらには学習した成果が適切に評価され、それを生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなど、「第４期大津市教育振興基本計画」や「大津市生涯学習推進計画」との整合を図りながら、生涯学習社会の実現のための取組を進めている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 事業を取り巻く社会環境は、施設の老朽化に加え、近年の激しい物価高騰などへの対応により、大きな転換期を迎え、経営的な視点で総量を最適化する公共施設マネジメントへの移行が急務になっている。利用者にとって生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供が求められている。 （見直しや改善等の経過） 開設以来３４年が経過し、経年劣化に伴う修繕や補修等を適宜実施するとともに、空調設備においても年次計画で更新工事を実施することにより、施設の長寿命化を図るなど環境整備に努めている。また昨年度は、南側隣接地の駐車場整備工事が完工し利用者が安心・安全に利用できるよう生涯学習活動の支援に努めた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子どもから高齢者まで幅広い世代を対象として
目的(何のために)	利用者の生涯にわたる学習活動や発表の場を提供し、また、自主事業を通して利用者の交流や様々な学習機会の提供を図るため
手段(どのようなやり方で)	多様化する学習ニーズの中で、より多くの方が生涯学習活動に参加できるよう情報の発信と快適に学習できる環境を提供することで
成果(どのような 状態にするのか)	多くの利用者にとって、満足度の高い施設とする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	135,734	150,491	160,313	168,584	168,584	168,584	168,584
事業費	88,084	101,081	108,303	116,574	116,574	116,574	116,574
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	20,534	28,750	29,003	29,003	29,003	29,003	29,003
一般財源	67,550	72,331	79,300	87,571	87,571	87,571	87,571
人件費計	47,650	49,410	52,010	52,010	52,010	52,010	52,010
事務・技術（人）	1.70	1.70	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
技能労務（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
再任用（人）	1.50	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	5.95	6.65	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0233
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2462　教育委員会生涯学習センター
事務事業番号　00807　生涯学習センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-15-50-00-01-00	生涯学習センター管理運営事業費	教育委員会生涯学習センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)生涯学習関連講座、講演会等開催事業数	事業	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)視聴覚ライブラリー関連講座開催日数	日	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		14.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ホール・学習室等年間利用者数	人	172,800.00	172,800.00	172,800.00	172,800.00	172,800.00	172,800.00	172,800.00
		178,752.00	173,433.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)講座等参加人数	人	360.00	360.00	360.00	360.00	360.00	360.00	360.00
		627.00	592.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	直営と委託業務を組合せるによる適切な運営を行っている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標を上回る人が利用される満足度の高い施設となっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	施設ボランティアとの連携による効率的な施設運営を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	幅広い年齢層の生涯学習活動の拠点となっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	幅広い年齢層の生涯学習活動の拠点として、生涯を通して学ぶことのできる環境の整備と多様な学習機会の提供により利用促進を図っている。また、大津市生涯学習センターボランティア連絡協議会（通称：チャオ）と事業共催するなど、ボランティアの育成と活性化に注力している。今後もより多くの方が生涯学習活動に参加できるよう情報の発信と快適に学習できる環境整備を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	幅広い年齢層の市民が生涯を通して学ぶことのできる施設として、有益な情報発信や多様な学習機会を提供し、利用者の安心、安全な学習環境を維持していくことは重要である。今後さらに生涯学習社会の実現のため、生涯学習活動の拠点であるセンターの魅力と利用者満足度の向上を図る取組を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2462　教育委員会生涯学習センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00807　生涯学習センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)生涯学習関連講座、講演会等開催事業数	事業	5.00 5.00	5.00 6.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	センター自主事業（マナちゃんセミナー等）						
(活動)視聴覚ライブラリー関連講座開催日数	日	14.00 14.00	14.00 14.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	子ども映画会、１６ミリ映写機講習会等						
(成果)ホール・学習室等年間利用者数	人	172,800.00 178,752.00	172,800.00 173,433.00	172,800.00 0.00	172,800.00 0.00	172,800.00 0.00	172,800.00 0.00	172,800.00 0.00
	指標説明	入館可能人数（１，０００人）×６割×２４日×１２						
(成果)講座等参加人数	人	360.00 627.00	360.00 592.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00
	指標説明	各講座の募集定員＋期待参加者数（定員のない講座等実績）×０．６						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0234
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　美幸
所属　2469　教育委員会北部地域文化センター　記入者　二ノ宮　尚樹
事務事業番号　00812　北部地域文化センター運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009　生涯学習の推進				
取組の方向性	002　学びを広げ深める支援				
事務事業	015　北部地域文化センター運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市北部地域文化センター条例				
事業概要	（事業概要） 北部地域における文化芸術活動や生涯学習活動の拠点として、積極的な活用を図る。また、複合施設（文化ホール・北図書館・堅田少年センター・堅田児童館）の適正な維持管理に努めている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成５年７月の開設以来、北部地域の文化芸術活動・生涯学習の拠点施設として根づき、地域住民に親しまれてきたが、少子高齢化や市民ニーズの多様化の進展に伴い、新規需要に応える事業展開が求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成２９年度以降はニーズの高い新規自主事業を積極的に展開し、着実に成果をあげてきた。また、令和６年度は調光設備改修工事や電気設備機器更新工事を行い施設の適正管理を図った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市民の文化芸術活動や生涯学習の活動を支援する施設として、市民の利用促進を図るとともに、安心して安全に利用できる施設の充実のため
手段(どのようなやり方で)	情報紙（北部地域文化センターだより）発行、自主事業ポスター・チラシ作成、ホームページの充実等により、施設の利用促進を広報（ＰＲ）するとともに、また、施設の経年劣化に対応するため、年次計画により施設の修繕等をすることで
成果(どのような状態にするのか)	北部地域の文化芸術活動や生涯学習の拠点施設として市民の幅広い層に利用いただくことで、北部地域全体の文化力が向上する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	131,758	79,369	65,882	103,517	303,486	65,882	72,185
事業費	113,028	58,049	44,562	82,197	282,166	44,562	50,865
国庫支出金	0	0	0	0	28,000	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	9,000	0	1,400	21,500	157,000	0	0
その他	20,750	3,293	3,470	3,414	3,414	3,414	3,414
一般財源	83,278	54,756	39,692	57,283	93,752	41,148	47,451
人件費計	18,730	21,320	21,320	21,320	21,320	21,320	21,320
事務・技術（人）	0.30	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0234
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2469　教育委員会北部地域文化センター
事務事業番号　00812　北部地域文化センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-17-00-01-00	北部地域文化センター運営事業費	教育委員会北部地域文化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ホール利用人数	人	12,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00
		13,803.00	19,444.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ホール貸出件数	件	120.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00
		131.00	191.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数対前年比	比	1.00	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.78	1.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)稼動率	%	41.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		58.00	62.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	直営及び委託業者を組合せ適切に実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	昨年度と比較し、ホール利用人数及び貸出件数ともに増加した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	限られた予算の中で、施設の維持管理と各種事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	北部地域の文化芸術活動や生涯学習の拠点として貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本施設は、図書館、児童館等を併設することで、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の市民に寄り添った学習機会と交流の場を提供し、文化・教養の向上と地域コミュニティの活性化に貢献している。 今後も、安全で快適な施設の維持管理に努めるとともに、学習機会や発表の場の提供、交流機会の創出等を通じた市民の生涯学習活動へのきめ細やかな支援、及び地域ニーズに応じた魅力ある自主事業を一体的に推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	北部地域の生涯学習及び文化振興の拠点施設として、利用者にとって常に快適で安全な環境を提供できるよう年次計画に基づき継続的な施設の改修を行っていく。また、当施設が持つ複合施設としての機能を最大限に活かし、館内の各所属との緊密な連携を深めることで、あらゆる世代の方々が学び、交流し、文化に触れる機会を創出していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2469　教育委員会北部地域文化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00812　北部地域文化センター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ホール利用人数	人	12,000.00 13,803.00	17,000.00 19,444.00	17,000.00 0.00	17,000.00 0.00	17,000.00 0.00	17,000.00 0.00	17,000.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）						
(活動)ホール貸出件数	件	120.00 131.00	165.00 191.00	165.00 0.00	165.00 0.00	165.00 0.00	165.00 0.00	165.00 0.00
	指標説明	年間ホール貸出件数（実績）						
(成果)利用者数対前年比	比	1.00 0.78	1.41 1.41	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	今年度利用者数／前年度利用者数						
(成果)稼動率	%	41.00 58.00	55.00 62.37	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
	指標説明	ホール貸出日数／ホール利用可能日数【令和７年度】貸出日数：184日／開館日数：295日）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0235
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　河村正人
所属　2453　教育委員会和邇文化センター　記入者　河村正人
事務事業番号　00806　和邇文化センター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04 大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003 生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009 生涯学習の推進				
取組の方向性	002 学びを広げ深める支援				
事務事業	013 和邇文化センター管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市和邇文化センター条例				
事業概要	（事業概要） 和邇文化センターは、市民の文化及び教養の高揚並びに芸術の振興に寄与するため貸館をはじめ関連する事業を実施している。同センターは昭和６３年４月に旧志賀町民センターとして開館し、５００席（固定席）のホールと２０名収容の会議室がある。ホールはピアノや日本舞踊などの発表会や各種講演会などに利活用されている。施設には、和邇支所や和邇すこやか相談所・和邇あんしん長寿相談所及び和邇コミュニティセンターが併設されている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 社会構造の変化や少子高齢化の進展などにより、市民ニーズも変化しており、様々な視点により、ホールの利活用の促進や自主事業を実施していく。 （見直しや改善等の経過） 当ホールは、座席が固定式で利用が限定されるが、ゆったりと観覧できるメリットを活かした舞台活用をアピールし利用促進を図っている。加えて、令和５年度実施の音響設備改修や令和６年度実施の舞台照明設備改修による魅力度の向上などを活かし、幅広い利活用を図っていく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び関係団体
目的(何のために)	市民の文化及び教養の高揚、芸術の振興に寄与するとともに、生涯学習の機会を提供し、多様な市民ニーズに応えるため
手段(どのようなやり方で)	施設の貸し出し、自主事業の企画・実施、ホームページや広報おおつ等での情報発信、及び施設の適切な維持管理を通じて、市民が文化芸術活動や生涯学習に親しめる環境を提供する。
成果(どのような状態にするのか)	広く多くの市民及び関係団体に施設が利用され、文化芸術活動や生涯学習の機会が創出されることで、市民の豊かな文化生活と教養の向上に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	115,703	44,184	40,625	55,123	59,654	125,296	48,352
事業費	107,801	33,804	28,181	42,679	47,210	112,852	35,908
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,692	2,664	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
一般財源	105,109	31,140	25,401	39,899	44,430	110,072	33,128
人件費計	7,902	10,380	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
事務・技術（人）	0.00	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.41	1.45	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0235
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2453　教育委員会和邇文化センター
事務事業番号　00806　和邇文化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-35-00-01-00	和邇文化センター管理運営事業費	教育委員会和邇文化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)自主事業参加延べ人数	人	1,000.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,241.00	1,236.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	293.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	12,000.00	17,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
		17,722.00	24,701.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ホール稼動率	%	35.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		39.00	40.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民等が日頃の活動の成果を発表したり生涯学習の場として必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	適切な維持管理等を行うことにより入館者数は増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	効率的な運営を行うことにより稼働率も目標を上回っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民等の日頃の成果の発表の場や生涯学習の場となっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	社会構造の変化・市民の価値観の多様化さらには少子高齢化の急速な進展などにより、市民ニーズも多様化しており、当センターでは、催し物や発表会のみならず、各種会議や研修会など多種多様な多目的利用の促進を引き続き図っていく。 令和６年度に実施した舞台照明設備の改修は、既設の音響設備との相乗効果により、ホールの魅力度を大きく向上させた。令和７年度は、この改修効果を最大限に活かし、多彩な舞台演出が可能な環境であることを積極的にアピールすることで、より幅広い利用者の獲得と利用促進に繋げている。今後も利用者一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな対応を行い、市民の皆様にとって一層利用しやすい、地域文化・生涯学習の拠点となるよう努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、市民一人ひとりの多様なニーズを的確に捉え、きめ細やかな対応を行うとともに、新たな文化・学習活動の創出にも繋がるよう、関係機関や団体との連携も視野に入れ、地域全体の活性化に資する拠点として、その役割を一層深化させていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2453　教育委員会和邇文化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00806　和邇文化センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)自主事業参加延べ人数	人	1,000.00 1,241.00	1,200.00 1,236.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	公開講座を含む参加者人数						
(活動)開館日数	日	293.00 258.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	営業している日数 施設改修工事等により年度毎のばらつきが出る為、7年度から取止めとする						
(成果)入館者数	人	12,000.00 17,722.00	17,000.00 24,701.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00
	指標説明	ホール使用時の入館者数						
(成果)ホール稼動率	%	35.00 39.00	40.00 40.43	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	貸館（稼動）日数÷開館日						
(成果)自主事業実施回数	回数	0.00 0.00	4.00 4.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	活動指標の元となる実施回数を掲載することとした						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0236
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　美幸
所属　2481　教育委員会科学館　記入者　古川　昌弘
事務事業番号　00197　科学館事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009　生涯学習の推進				
取組の方向性	001　学びの環境づくり				
事務事業	042　科学館事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	生涯学習センター条例　第３条				
事業概要	（事業概要） プラネタリウム事業や展示事業を通して、子どもたちや一般市民の科学への興味関心を育て、科学知識の普及や向上を図る。また、科学やものづくりに興味・関心を持つ児童・生徒に活動の機会を提供し、科学的な思考力を育成するため、下記の事業を実施する。 ・サイエンス屋台村・わくわくサイエンス・星空観望会・昼間の星観察・太陽黒点観察・科学教室・子育て支援 ・大津少年少女発明クラブ・ＩＦクラス・出張科学教室				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 科学技術が飛躍的に進展する中にあっても、基礎的な科学知識の未修得な状況や子どもの理科離れが見られるため、子どもが身近な自然や科学の現象に触れ、体感的に学び理解を深める機会が必要とされている。 （見直しや改善等の経過） 科学工作教室の事業に、プランクトン教室とびわ学大科学教室を統合し、事業名を「科学教室」に改めた。 科学の子育成事業の大津少年少女発明クラブ、ＩＦクラス、出張科学教室を科学館事業に移し、事業の枠組みを変更した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	幼児・児童・生徒及び一般市民を対象に、
目的(何のために)	科学への興味・関心を高め、科学知識の普及や向上を図るため、
手段(どのようなやり方で)	館内施設を活用した諸事業を企画することで科学に関する学習や体験の場を提供し、
成果(どのような 状態にするのか)	科学の振興や科学知識の幅広い習得を図り、子どもたちに科学技術の有用性を理解させる。また、幼児から一般市民向けまで様々な年齢層を対象にした事業を実施することで、多様な年齢層の来館が見込める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,579	26,537	28,300	28,612	28,612	28,612	28,612
事業費	1,484	1,985	2,348	2,660	2,660	2,660	2,660
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,484	1,985	2,348	2,660	2,660	2,660	2,660
人件費計	7,095	24,552	25,952	25,952	25,952	25,952	25,952
事務・技術（人）	0.10	0.30	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
技能労務（人）	0.05	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.50	4.48	4.78	4.78	4.78	4.78	4.78
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0236
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2481　教育委員会科学館
事務事業番号　00197　科学館事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-40-36-00-02-00	科学館事業費	教育委員会科学館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	150.00	150.00	190.00	190.00	190.00	190.00	190.00
		148.00	196.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加者数	人	4,300.00	5,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
		5,767.00	6,465.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	幼児や小中高生から大人まで、幅広い年齢層を対象としている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	館内施設を活用した諸事業を企画し、多くの参加者を得た			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	適材適所の人員配置と役割分担により、効率良く運営している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	多様な事業の実施とその内容により、参加者の満足度が高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	多くの事業で参加者数が増えている。特に、サイエンス屋台村や科学教室では定員を超える応募があり、抽選によって参加者を決定している。子育て支援を目的に実施している「はじめてのプラネタリウム」の投影では、リピーターも多く、子育て世代を応援する事業として科学館運営協議会からも高い評価をいただいている。 令和７年度からは、科学の子育成事業の大津少年少女発明クラブ、ＩＦクラス、出張科学教室を統合し、事業の見直しを行ったところであり、今後も科学教育の振興を図る取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	科学館は、科学教育の振興や普及を目的に、乳幼児から幅広い年齢層の市民に対して、多彩な科学現象や自然に触れる機会を提供していることから、今後も引き続き創意工夫を重ね、科学全般に対する興味や関心を高められる事業を展開していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2481　教育委員会科学館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00197　科学館事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	150.00 148.00	150.00 196.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00
	指標説明	科学館事業を実施した総回数						
(成果)参加者数	人	4,300.00 5,767.00	5,000.00 6,465.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00
	指標説明	事業参加者の年間総数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0237
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　橋詰　博基
所属　2414　教育委員会図書館　記入者　松本　まどか
事務事業番号　00822　図書資料整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009　生涯学習の推進				
取組の方向性	001　学びの環境づくり				
事務事業	003　図書資料整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	図書館法　読書バリアフリー法　大津市立図書館条例　大津市立図書館の管理運営に関する規則				
事業概要	（事業概要） 市民の読書要求に応え学習の機会を保障し、生活に根ざした知識・情報提供の拠点として、市民にとって常に魅力的で新鮮な蔵書構成を維持するために必要な図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、オーディオブック、電子図書等の収集、保存、整備を行う。また、特に子ども・若者の育ちを支援することに重点を置き、本を通して読書習慣や自ら学ぼうとする意欲の形成を支援する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民生活と生涯学習を支援する社会教育施設として、利用者の多様化するニーズや社会環境の的確な把握と誰もが利用しやすい図書館となるような資料の整備が求められている。 また、子ども読書活動推進計画に基づいた資料の充実と提供が求められている。 （見直しや改善等の経過） 非来館型電子図書館では同時アクセスが可能なマルチライセンス型コンテンツの拡充を行った。児童書等の幼保小中学校及び子育て施設等への貸出用図書整備及び移動図書館の巡回の拡充に努めた。また他部局等との連携事業を実施し、展示等の協働事業を通して市民の施策への関心を高めるとともに図書館の利用促進を図った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民（市内在住、在勤、在学）を対象に
目的(何のために)	市民の読書要求に応え、生涯学習、教養、調査研究、レクリェーション等に資するため
手段(どのようなやり方で)	資料の収集、整理、保存、提供、除籍をすることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが、自分の知りたい情報を有する図書館資料を読み、図書館に集い、仕事・勉強・生活に役立てるために学び、市民の自己実現と地域の課題解決を図ることで連携と協働による新たな地域共創の実現を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	68,810	70,527	70,459	74,304	74,304	74,304	74,304
事業費	48,210	48,447	48,379	52,224	52,224	52,224	52,224
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	48	104	47	47	47	47	47
一般財源	48,162	48,343	48,332	52,177	52,177	52,177	52,177
人件費計	20,600	22,080	22,080	22,080	22,080	22,080	22,080
事務・技術（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0237
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2414　教育委員会図書館
事務事業番号　00822　図書資料整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-40-16-00-01-00	図書資料整備事業費	教育委員会図書館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)蔵書数	冊	900,000.00 914,509.00	915,000.00 924,005.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00
(成果)図書貸出冊数	冊	1,518,000.00 1,430,667.00	1,518,000.00 1,393,084.00	1,303,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00
(活動)新規図書購入等冊数	冊	30,000.00 29,436.00	30,000.00 26,931.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00
(成果)開架に占める新規図書比	%	9.10 7.44	9.10 6.52	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	図書館司書資格所有専門職員の配置を加味した市直営の運営が妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新規図書購入等冊数の減少等により貸出冊数が下がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	限られた予算で資料提供及び他部局との連携により効率化が実現			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	生涯学習の推進及び子どもの読書環境の整備に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	市民にとって生涯学習の基盤となる身近な社会教育施設として、様々な市民ニーズや地域の課題解決に応えるため新鮮で魅力ある資料の収集・整備・提供に努め、様々な図書館事業や他部局との連携と協働事業を通じて市民の利用拡大を図った。また、子どもの読書活動推進として、児童書の充実や学校園等への団体貸出、移動図書館の出前特別巡回、電子図書館の同時アクセスが可能なマルチライセンス型コンテンツの拡充に取り組んだ。 誰もが利用しやすい図書館を目指したバリアフリー資料の整備や「文学のまち大津」としてゆかりの文学作品や大津の豊かな歴史文化に関する郷土資料の収集と資料を活用したサービスの提供に努め、さらなる読書活動推進を図るため図書館資料についての情報発信に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	子どもの成長段階に応じた図書や、大津の豊かな歴史文化に関する郷土資料、バリアフリー資料など、新鮮で幅広い資料収集を行い、市民の読書要求や学習機会の保障、シビックプライドの醸成に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2414　教育委員会図書館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00822　図書資料整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)蔵書数	冊	900,000.00 914,509.00	915,000.00 924,005.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00	900,000.00 0.00
	指標説明	市立図書館全体の蔵書数（一般書、児童書、行政資料他）						
(成果)図書貸出冊数	冊	1,518,000.00 1,430,667.00	1,518,000.00 1,393,084.00	1,303,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00	1,424,000.00 0.00
	指標説明	所蔵資料全体（電子図書含）貸出冊数						
(活動)新規図書購入等冊数	冊	30,000.00 29,436.00	30,000.00 26,931.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00	29,000.00 0.00
	指標説明	年間新規図書購入等冊数						
(成果)開架に占める新規図書比	%	9.10 7.44	9.10 6.52	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00	7.67 0.00
	指標説明	開架スペースに占める新規図書冊数の割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0238
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木澤　義樹
所属　2416　教育委員会少年センター　記入者　高岸　宏之
事務事業番号　00881　大津少年センター運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	007　大津少年センター運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市生涯学習センター条例・運営規則				
事業概要	（事業概要） 青少年の健全育成と被害・非行防止を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動、学校支援事業等を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少年の課題の背景は、本人の発達の特性や虐待・子育て不安など家庭の課題等、多様化している。さらには、これらの要因が複雑に絡み合っている場合もある。また、問題行動の低年齢化の傾向が見られ、不登校や引きもこりは教育課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 複雑化し解決困難な相談ケースに対応するため、週１回ケース会議や支援会議、関係機関との連携会議を持つ。共通理解と職員の協力体制を図るため、月１回の所内会議を行い、生徒理解や支援についての研修および職員の指導力の向上を図る。加えて、相談者や学校等に対し適時適切な支援を組織的に行う体制作りを進めていく。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	少年等２０歳未満の者を対象として
目的（何のために）	少年の非行防止と健全育成を図るため
手段（どのようなやり方で）	相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する支援をあすくる活動や無職少年対策と連携し行うこと、また、各学校の状況を把握し、そのニーズや課題に応じて校長ＯＢの視点から学校支援を行うこと、更には、学校、地域、警察等関係機関等と連携し、少年補導や立入調査を実施するとともに、広報誌等の発行等を行い、少年問題や課題の市民の啓発を行なう。
成果（どのような状態にするのか）	相談活動や少年支援、学校支援を行うことで、非行（犯罪やぐ犯行為）や問題行動等の未然防止、早期解決ができ、少年等の倫理意識の高揚とともに少年等の非行防止・健全育成に係る環境や機運の醸成が図られる社会の実現を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	24,655	26,627	27,283	27,388	27,388	27,388	27,388
事業費	1,965	1,703	1,963	2,068	2,068	2,068	2,068
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	230	230	230	230	230	230	230
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,735	1,473	1,733	1,838	1,838	1,838	1,838
人件費計	22,690	24,924	25,320	25,320	25,320	25,320	25,320
事務・技術（人）	0.75	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	4.21	4.21	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0238
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2416　教育委員会少年センター
事務事業番号　00881　大津少年センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-30-40-00-05-00	大津少年センター運営事業費	教育委員会少年センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)少年相談件数	件	1,280.00	1,280.00	1,280.00	1,280.00	1,280.00	1,280.00	1,280.00
		1,533.00	1,770.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)街頭補導回数	回	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00
		502.00	529.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)学校支援訪問回数	回	0.00	0.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談の結果改善がみられた人数	人	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00
		45.00	42.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	街頭補導回数、少年相談件数ともに目標を上回っているため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	５回以上、継続して来所している少年が２３人にのぼるため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各事業が相互に連携を図りながら、少年や保護者の支援に努めてい			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	目標を達成する数字であるため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	日常の相談活動を通して個々の課題やニーズを把握し助言を行うとともに、ケースによって思春期心理相談や無職少年対策、非行少年等立ち直り支援（あすくる）につなぎ、保護者との連携を密にし、関係機関との連携しながら少年や保護者の支援に努めている。また、適時適切な学校支援を行うため、学校支援アドバイザー事業を見直し、すべての校長ＯＢが学校訪問を行うこととし、所員が情報共有をしながら学校の課題やニーズに応じた支援を行っていく。更には、地域や大津警察署等と連携し、補導活動、環境浄化活動や広報啓発活動を通して少年が健全に成長できる環境の醸成や機運の向上に努める。今後も、少年、保護者に寄り添いながら相談・支援を行うとともに、学校支援に努めていく。また、大津警察署はもとより、子ども若者政策課等福祉機関や就労支援機関、高等学校との連携を図り、少年の健全育成や非行防止に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	一般相談や電話相談及び来所相談を通して少年や保護者支援に努めるとともに、学校訪問による学校支援により、少年の健全育成に寄与している。また、補導活動及び街頭啓発活動や環境浄化活動は、少年の健全育成に資する地域環境や機運の醸成を図り、非行防止や健全育成に重要な取組である。今後も児童生徒支援課や関係機関と十分連携しながら、粘り強く少年の被害非行防止・健全育成に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2416　教育委員会少年センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00881　大津少年センター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)少年相談件数	件	1,280.00 1,533.00	1,280.00 1,770.00	1,280.00 0.00	1,280.00 0.00	1,280.00 0.00	1,280.00 0.00	1,280.00 0.00
	指標説明	相談を受理した件数						
(活動)街頭補導回数	回	480.00 502.00	480.00 529.00	480.00 0.00	480.00 0.00	480.00 0.00	480.00 0.00	480.00 0.00
	指標説明	街頭補導を実施した回数						
(活動)学校支援訪問回数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	学校訪問を行った回数 学校等への支援充実のため令和８年度から新指標を設定する。						
(成果)相談の結果改善がみられた人数	人	37.00 45.00	37.00 42.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00
	指標説明	相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0239
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木村　公則
所属　8834　教育委員会堅田少年センター　記入者　木村　公則
事務事業番号　00882　堅田少年センター運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	008　堅田少年センター運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	北部地域文化センター条例・運営規則				
事業概要	（事業概要） 青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動等を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少年の課題の背景は、本人の発達の特性や虐待・子育て不安など家庭の課題等、多様化している。さらには、これらの要因が複雑に絡み合っている場合もある。 （見直しや改善等の経過） 複雑化し解決困難な相談ケースに対応するため、週１回ケース会議や支援会議、関係機関との連携会議を持ち、共通理解と指導員の研鑽を深め、相談者や学校等に対し適切な支援を組織的に行う体制作りを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	少年（２０歳未満の者）を対象に
目的(何のために)	少年の非行防止と健全育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関と連携を図り、少年補導と実態把握をして学校支援を行うこと、また、相談活動の充実で少年及び保護者に対する支援を行うこと、更に、広報誌の発行等、青少年問題に対する市民への啓発を行なうこと
成果(どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	18,805	20,347	20,403	20,517	20,517	20,517	20,517
事業費	931	935	991	1,105	1,105	1,105	1,105
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	230	230	230	230	230	230	230
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	701	705	761	875	875	875	875
人件費計	17,874	19,412	19,412	19,412	19,412	19,412	19,412
事務・技術（人）	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.63	3.63	3.63	3.63	3.63	3.63	3.63
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0239
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　8834　教育委員会堅田少年センター
事務事業番号　00882　堅田少年センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-30-40-00-07-00	堅田少年センター運営事業費	教育委員会少年センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)少年相談件数	件	362.00	362.00	362.00	362.00	362.00	362.00	362.00
		343.00	266.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)街頭補導回数	回	185.00	185.00	185.00	185.00	185.00	185.00	185.00
		159.00	175.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)学校支援事業	件	0.00	0.00	72.00	72.00	72.00	72.00	72.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談の結果改善がみられた人数	人	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		12.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	相談支援や学校支援、環境浄化の取組が適切に行われている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	学校や警察等、関係機関と連携した取組が適切に行われている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	少年支援や環境改善の取組が組織的・効果的に行われている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	支援や環境改善の取組が、少年非行防止と健全育成に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度は、相談活動による少年支援や保護者支援、学校支援アドバイザー事業は、少年等の健全育成に寄与した。また、補導活動、環境浄化活動を通じて少年等の健全育成に資する地域環境や機運の醸成を図ることにより、少年等の非行防止や健全育成において有効であった。さらに、児童生徒支援課や教育支援センター等と連携を図りながら、粘り強く少年等の非行防止、健全育成に努めていくことが必要であり、今年度は更なる充実を図る。なお、令和８年度は学校支援アドバイザー事業が終了し、代わって学校支援事業として、管内小中学校に職員が定期または臨時に支援に訪問する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	相談活動を通じての、少年や保護者支援、学校支援アドバイザー派遣事業や職員による学校支援は、少年等の健全育成に寄与している。補導活動、環境浄化活動を通じて、少年等の健全育成に資する地域環境や機運の醸成を図ることは、少年等の非行防止や健全育成における重要な取り組みである。今後も、児童生徒支援課、教育支援センター等と連携しながら、粘り強く、非行防止、健全育成に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　8834　教育委員会堅田少年センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00882　堅田少年センター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)少年相談件数	件	362.00 343.00	362.00 266.00	362.00 0.00	362.00 0.00	362.00 0.00	362.00 0.00	362.00 0.00
	指標説明	相談を受理した件数						
(活動)街頭補導回数	回	185.00 159.00	185.00 175.00	185.00 0.00	185.00 0.00	185.00 0.00	185.00 0.00	185.00 0.00
	指標説明	街頭補導を実施した回数						
(活動)学校支援事業	件	0.00 0.00	0.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00
	指標説明	学校支援のために訪問した回数 学校等への支援充実のため令和８年度から新指標を設定する。						
(成果)相談の結果改善がみられた人数	人	13.00 12.00	13.00 11.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00
	指標説明	相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）						

IP27P050